

平成 16 年度（第 48 回）  
岩手県教育研究発表会発表資料

情報教育

## 中学校社会科公民的分野における我が国の政治について 理解を深める指導の在り方に関する研究

- 「民主政治と政治参加」の学習に用いる  
マルチメディア教材の開発と活用をとおして -

平成 17 年 2 月 9 日  
長期研修生  
釜石市立釜石第一中学校  
齊藤 雅彦

## 【 目 次 】

研究目的	1
研究仮説	1
研究の内容と方法	1
1 研究の内容	1
2 研究の方法	2
3 対象	2
研究結果の分析と考察	2
1 中学校社会科公民的分野におけるわが国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想	2
(1) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本的な考え方	2
(2) 我が国の政治について理解を深める指導においてマルチメディア教材を用いる意義	2
(3) 我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材を用いた指導の在り方	3
(4) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想図	4
2 基本構想に基づく指導プログラム	4
3 基本構想に基づき開発したマルチメディア教材	4
(1) マルチメディア教材開発の目標	4
(2) マルチメディア教材開発の留意事項	4
(3) マルチメディア教材の概要	5
(4) マルチメディア教材の内容	6
4 検証計画	6
5 授業実践及び実践結果の分析と考察	7
(1) 我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材を活用した授業実践の概要	7
(2) 実践結果の分析と考察	8
6 中学校社会科公民的分野におけるわが国の政治について理解を深める指導の在り方に関する研究のまとめ	11
(1) 成果	11
(2) 課題	12
研究のまとめと今後の課題	12
1 研究のまとめ	12
2 今後の課題	13

<おわりに>

【参考文献】

【引用Webページ】

【補充資料】

## 研究目的

中学校社会科公民的分野においては、民主政治の意義を国民主権という立場から国民生活と関連付けて具体的にとらえるとともに、主権者として政治に参加する意義を自覚し、自分とのかかわりを意識しながら我が国の政治について理解を深めることが大切である。

しかし、生徒の多くは、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみを自分の生活と結び付けてとらえることができず理解を深めることができないと思われる。それは、政治に関する学習が、主権者という立場からとらえさせたり、生徒の生活レベルで認識させたりすることが困難な内容であるためと考える。

このような状況を改善するためには、我が国の政治にかかわる組織のしくみやほたらき、人々の様子、生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を用いながら、生徒に我が国の政治にかかわる立場になってとらえさせたり、我が国の政治を自分の生活に置き換えてとらえさせたりする必要があると考える。

そこで、この研究は、我が国の政治にかかわる組織のしくみやほたらき、人々の様子、生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発し、それを活用した授業実践をとおして、我が国の政治について理解を深める指導の在り方を明らかにし、中学校社会科公民的分野の学習指導におけるコンピュータ活用の充実に役立てようとするものである。

## 研究仮説

中学校社会科公民的分野「民主政治と政治参加」において、我が国の政治にかかわる組織のしくみやほたらき、人々の様子と生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を用いて、我が国の政治にかかわる立場にたち主権者としてとらえさせ、我が国の政治を自分の生活に置き換えてとらえさせる指導を行えば、生徒は我が国の政治について理解を深めることができるであろう。

## 研究の内容と方法

### 1 研究の内容

- (1) 中学校社会科公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想の立案  
中学校社会科公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本的な考えをまとめ、その指導についての基本構想を立案する。
- (2) 基本構想に基づく指導プログラムの作成  
基本構想に基づき、我が国の政治について理解を深める指導についての指導プログラムを作成する。
- (3) 基本構想に基づくマルチメディア教材の開発  
基本構想に基づき、我が国の政治にかかわる組織のしくみやほたらき、人々の様子と生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発する。
- (4) 授業実践及び実践結果の分析と考察  
基本構想に基づき開発したマルチメディア教材を用いた授業を行い、その結果を分析することにより、手だての有効性を検証する。
- (5) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する研究のまとめ  
実践結果の分析と考察に基づき、我が国の政治について理解を深める指導の在り方についてまとめる。

## 2 研究の方法

### (1) 文献法

関連した文献および先行研究を参考にして、我が国の政治について理解を深める指導の在り方についての基本構想を立案するとともに、教材の開発を行う。

### (2) 質問紙法

生徒の我が国の政治の学習に関する意識について評定法による質問紙を作成し、事前と事後の調査結果について分析と考察を行う。

### (3) テスト法

我が国の政治についての理解の状況についてテスト問題を作成、実施し、その結果について分析と考察を行う。

### (4) 授業実践

授業実践をとおして、開発したマルチメディア教材の有効性について分析と考察を行う。

## 3 対象

釜石市立釜石第一中学校 第3学年（男子25名 女子13名 計38名）

### 研究結果の分析と考察

## 1 中学校社会科公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想

### (1) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本的な考え方

社会科公民的分野において、我が国の政治について学習する主なねらいは、「民主政治の意義を国民主権という立場から国民生活と関連付けて具体的にとらえさせるとともに主権者として政治に参加する意義を自覚させることをとおして、政治についての見方や考え方の基礎を養うこと」(学習指導要領解説書)である。我が国の政治について理解を深めることで、政治に参加することの大切さを分からせ、将来参政権を行使させたいと考える。

「理解を深める」とは、用語の暗記にとどまらず、学ぶ対象の意味をとらえ、自分が体験したことや既にもっている知識と照らし合わせながら自分なりの言葉で言え、現在の生活や将来あるべき姿を考える状態と考える。そこで、「我が国の政治について理解を深める」とは、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみを自分なりの言葉で説明でき、現在の生活や将来あるべき姿を考えることと考える。「理解を深める」土台として、自分とのかかわりに気付き調べてみようとする意欲、さらに、現在の生活や将来に生かそうとする学習への意欲の高まりが必要であると考える。それができることで理解した内容の価値を見出すことができ、自分なりの意見を生み出すことができるようになると考える。

なお、「我が国の政治にかかわる組織」とは、国会、内閣、裁判所及び政党をとらえる。「政治のしくみ」とは、我が国の政治にかかわる組織を中心に行われる議会制民主主義に関するしくみをとらえる。

### (2) 我が国の政治について理解を深める指導においてマルチメディア教材を用いる意義

政治の学習についてのアンケート調査では、政治の学習に対してあまり意欲をもてない生徒が多いという結果が出ている。その理由は、「興味がない」が圧倒的に多く、次いで「自分には関係ない」「難しそう」というものである。我が国の政治について自分の生活と結び付けてとらえさせることは、生徒に参政権がないことや直接かかわることが少ないことから困難であると考え

る。これまで新聞記事や写真を活用したり、我が国の政治と生徒会活動との共通点を話したりして、生活とのかかわりに気付かせたり、意味をとらえやすくしたりするように努力してきた。しかし、資料に時間的ずれがあったり、並べて見せたい文字や資料を1つずつしか提示できなかったりするため十分に効果を出せないでいた。

教材にマルチメディアを使うことで次のような学習活動ができるとされている。

- ・文字や写真、録音資料、VTR、映画、(インターネット)などの多様な学習情報を同一の環境の中で複合的に扱う学習活動を行うことができる
  - ・提示される情報の内容、順序を制御したり、組み合わせたりする構造にできるので、生徒が自らの意図に基づいて学習情報を引き出して調べたり、複数の学習情報を関連付けて考えたりする学習活動を行うことができる
- (平成10年度教育工学室研究)

そこで、次のようなことを考慮して、我が国の政治にかかわる組織のしくみやはたらき、人々の様子と生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発する。

- ・「今」行われていることを認識させるため、できるだけ新しい画像を使う
- ・我が国の政治と生徒会活動の共通点や違いに気付かせられるように選挙、多数決の様子の画像を並べて表示できる資料にする
- ・我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみの意味をとらえさせやすくするため、できるだけ文字と画像を組み合わせる(特に、簡単に行けない場所、入れない場所の画像)
- ・政治にかかわる立場になってとらえさせられるように学習の流れを制御できる構造にする
- ・Webページを短時間で利用できるように、リンクの仕方を工夫する

開発したマルチメディア教材を活用することで、生徒に我が国の政治にかかわる立場になってとらえさせたり、我が国の政治を自分の生活に置き換えてとらえさせたりする指導を行うことができ、生徒は理解を深めることができると考える。

### (3) 我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材を用いた指導の在り方

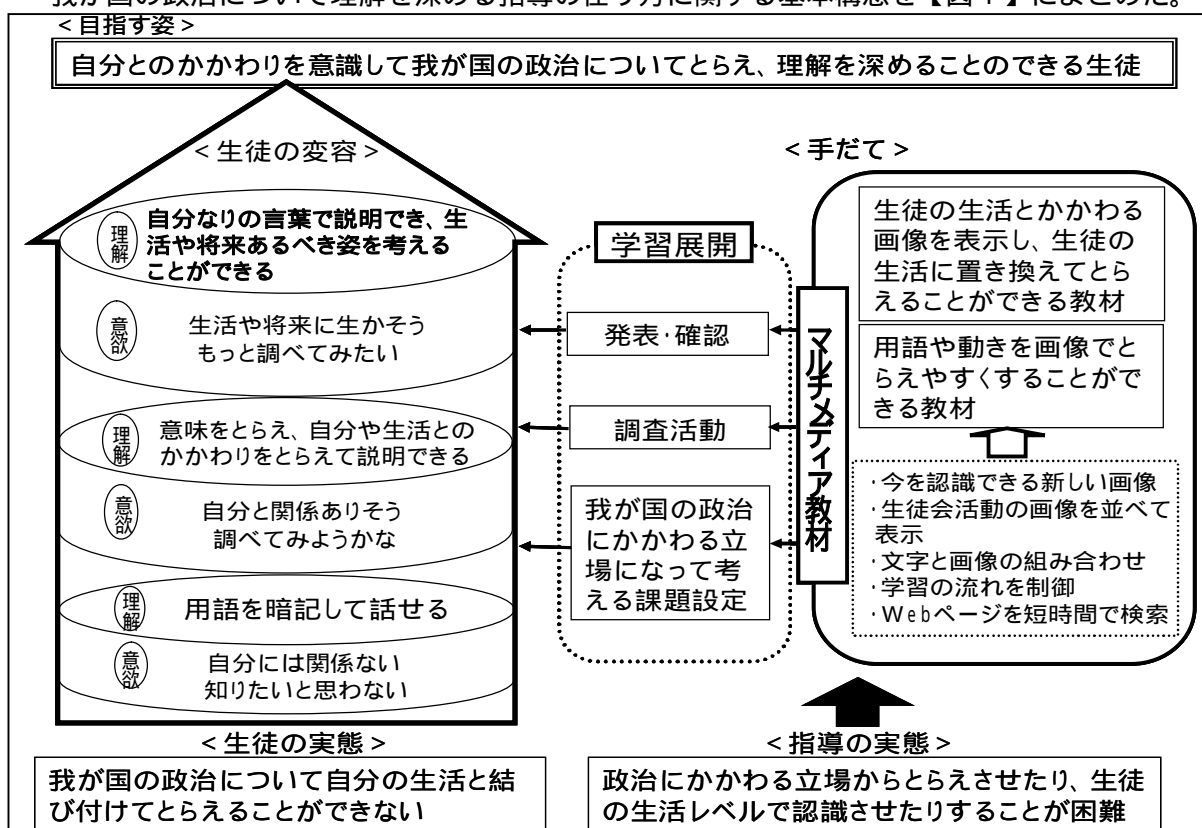
我が国の政治について理解を深めるために、我が国の政治にかかわる立場からとらえさせることが必要であると考え。国会議員や内閣は主権者である国民の幸せを考えなければならない。国民がしっかり監視することで国民主権が実行されることを感じ取らせ、政治に参加する意義を自覚させたい。

そこで、政治にかかわる立場になって考える課題設定をし、それを解決するための調査をさせるという学習展開にする。課題設定後、課題解決に向けての調査内容を確認し、調査させる。マルチメディア教材を使って調査させることで、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみの意味をとらえさせ、自分の生活と置き換えてとらえさせるようにしたい。個人の調査や考えを確認、補充するために発表をさせる。発表、確認をするためのために調査した内容は、学習シートに書き込ませる。確認するときは、視点を絞りながらマルチメディア教材の資料を教師側から見せて、自力調査のときの個人差を補うようにする。

このようにマルチメディア教材を活用し、政治にかかわる立場になって考える課題設定、学習展開の工夫をすることで、政治にかかわる組織や政治のしくみの意味をとらえ、自分や生活とのかかわりをとらえることができると考える。意味をとらえ、自分とのかかわりをとらえることで高まる、「もっと調べてみたい」「現在の生活や将来に生かそう」という意欲を土台にして、我が国の政治について自分なりの言葉で説明でき、現在の生活や将来のあるべき姿を考える段階まで理解が深まり、目指す姿につながると考える。

(4) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想図

我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想を【図1】にまとめた。



【図1】 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想図

2 基本構想に基づく指導プログラム

基本構想に基づいて作成した指導プログラムは、補充資料1～8に示す。

3 基本構想に基づき開発したマルチメディア教材

基本構想に基づいて開発した我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材は、以下のとおりである。

(1) マルチメディア教材開発の目標

ア 生徒が生活に置き換えてとらえられるように、今の社会で行われていることであることが分かる新しい画像を見ることができたり、我が国の政治で行われていることと生徒会活動で行われていることを並べて見ることができたりする構成にする。

イ その場に行って見ることができなかつたり、意味をとらえにくかつたりする我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみにかかわる画像をできるだけ取り入れ文字と組み合わせる。

ウ 政治にかかわる立場になってとらえさせられるように学習の流れを制御できる構造にする。

(2) マルチメディア教材開発の留意事項

ア 文字にはルビをふったり、重要語句の色や形を統一したりして下位生徒の読み取りを助ける。

イ 関連するWebページがあれば、決められた範囲の調査が終わった生徒が発展学習として見ることができるように作成し、短時間で見ることができるようにリンクの仕方を工夫する。

ウ パソコンの操作技術の差が学習に影響しないように、できるだけクリックするだけで必要な画面が見られるようにする。

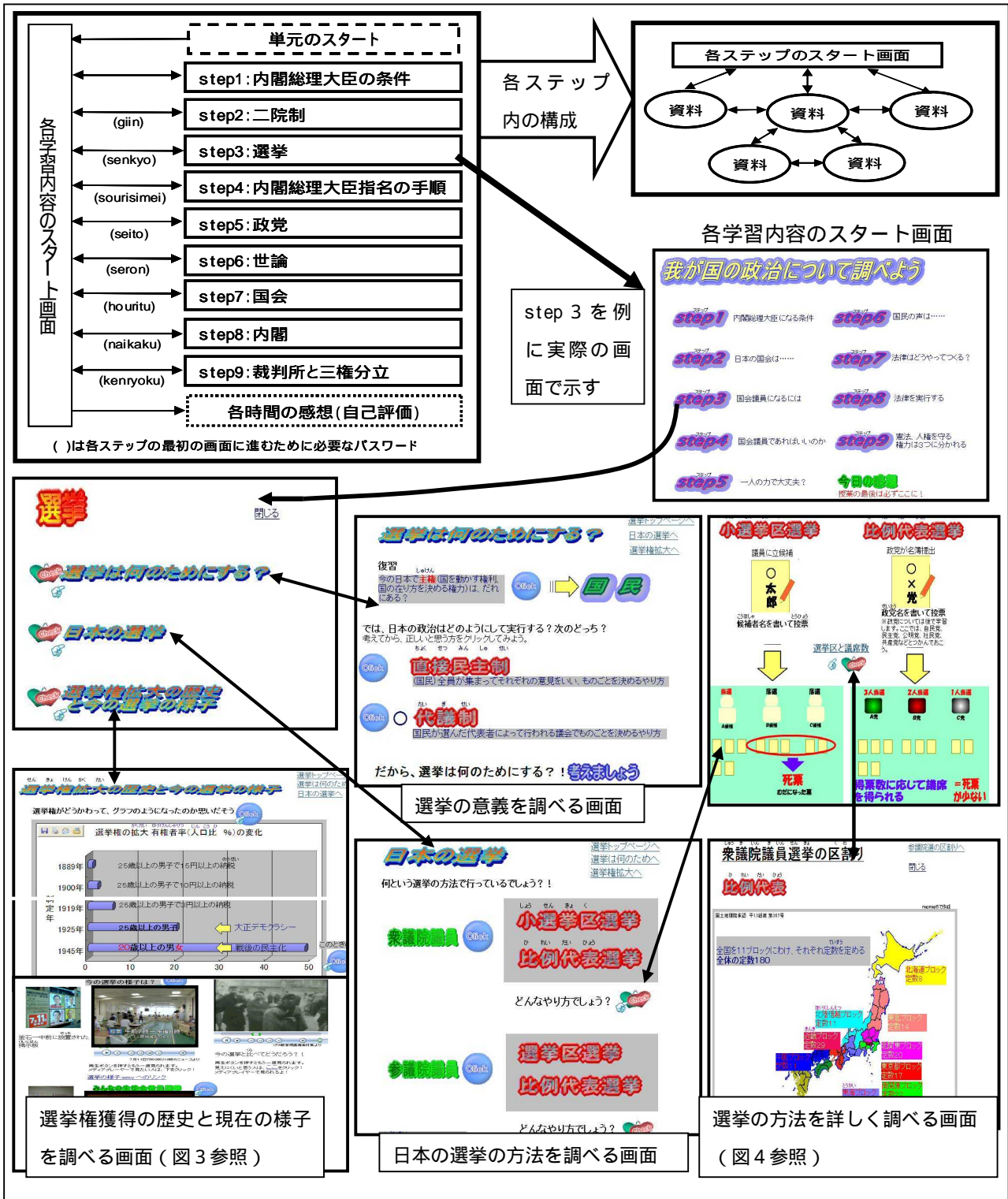
エ 学習内容ごとにステップを組む構成とし、各ステップの教材を1単位時間の学習の流れに沿って見ることができるように作成する。

オ 教材に必要な写真、動画は、著作権に配慮する。各政党、テレビ局、新聞社、衆議院、内閣広報室、最高裁判所、選挙関連サイト運営者に承諾を受ける。(補充資料13参照)

(3) マルチメディア教材の概要

マルチメディア教材の概要を【図2】に示す。(教材全体は補充資料14参照)

- ・教材は各ステップの横に書いたテーマごとに九つの教材を作り、調べ学習で対応するように一つにまとめた
- ・各教材はハイパーテキスト型の構造になっている (ハイパーテキスト：平成8年度教育工学室研究)
- ・単元のスタート画面は、課題作りのために1時間目だけ用いる
- ・各時間の感想画面は、単位時間の終わりに用い、生徒の自己評価と感想を書かせ、メールで送信させる
- ・各ステップは、課題解決のために調査が必要と思われる項目ごとに資料を整理している
- ・生徒がクリックすることで次の画面を表示する(図中の矢印はクリックを表す)



【図2】マルチメディア教材の概要



(4) マルチメディア教材の内容

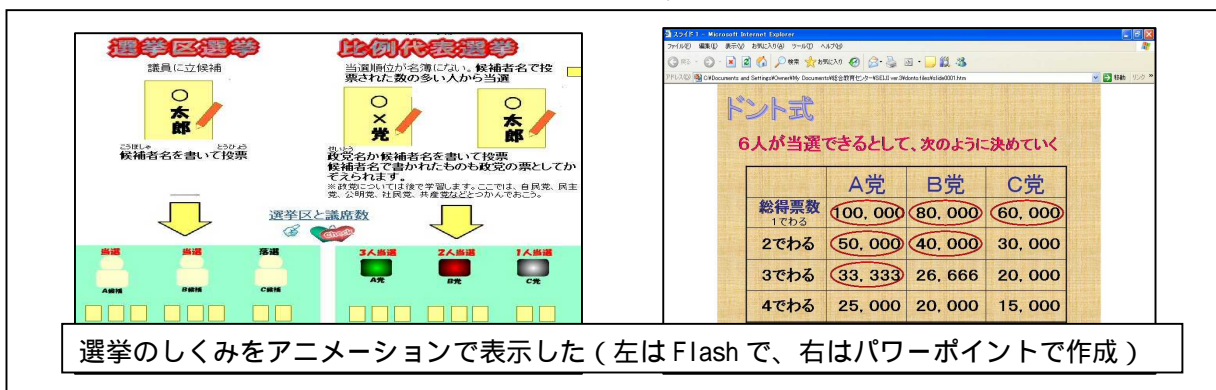
各学習内容の教材はハイパーテキスト型で共通しているのので、ここでは、一例として選挙のページ（【図3】・【図4】）を示す。

【図3】は、生徒が生活に置き換えてとらえられるようにするために、我が国の政治で行われている選挙の様子と生徒会役員選挙の様子を並べて見ることができるよう画像を入れた画面を作成したものである。あわせて選挙権の大切さをつかませるため、戦後の婦人参政権を得たばかりのときの投票の様子の画像も並べて見ることができるようにした。



【図3】マルチメディア教材の内容の例

我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみについて、動きや意味をとらえやすいようにするため、できるだけ多く画像を取り入れ文字と組み合わせるようにした。その画面の例として選挙の方法を【図4】に示す。開票の様子、議席決定の仕方についてアニメーションを使い、どのような手順で行われるのかをとらえられるようにした。



【図4】マルチメディア教材の内容の例

4 検証計画

検証計画の概要は【表1】のとおりである。



【表1】 検証計画の概要

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
1 我が国の政治の学習に対する意識の状況	・我が国の政治の学習に対する意欲の変容	・質問紙法による評定法 ・授業後の自己評価	・質問紙法を用いて事前・事後に意識調査をし、結果を <sup>2</sup> 検定を用いて分析・考察する ・授業後の自己評価を分析・考察する
2 我が国の政治について理解の状況	・我が国の政治について理解の深まり	・テスト法	・テスト法を用いて事前・事後にテストを行い、有効度指数により分析・考察を行う ・単元テストによる分析・考察を行う
3 教材の有用性	・我が国の政治について理解を深める教材としてのマルチメディア教材の有用性	・授業後の感想記述、自己評価 ・質問紙による評定法	・生徒の授業後の感想文や自己評価を分析・考察する ・質問紙法を用いて、マルチメディア教材の有用性に対する生徒の意識を分析・考察する

以上のことを総合的に考察する。

5 授業実践及び実践結果の分析と考察

(1) 我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材を活用した授業実践の概要

ア 対象 釜石市立釜石第一中学校 第3学年 1学級(男子25名 女子13名 計38名)  
ただし、授業は均等2学級(19名ずつ)にして少人数指導を行っている。



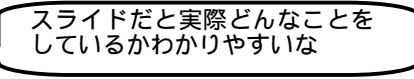
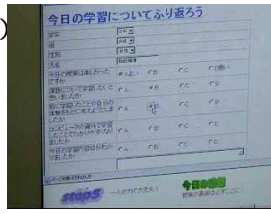
イ 授業実践の内容

(ア) 授業実践の期間 平成16年9月6日から9月24日

(イ) 1単位時間の基本的な展開

我が国の政治について理解を深めるマルチメディア教材を用いた単元の各授業は、基本的には次の【展開例】のように展開している。

【展開例】単位時間の学習の基本的な流れと学習の様子

段階	学習内容	学習活動
導入	1 前時の確認	・前時の学習内容と新たに生まれた疑問を確認する
	2 課題の設定	・課題を設定し、学習シートに書く
展開	3 課題解決の方法の確認	・課題解決に近付くために必要な調査すべき事柄を確認する
	4 調査活動  ニュースで聞くことが多いことが出てきたな。これからのこともあるからしっかり自分のものにしてよう	・使う資料ページ(step)の確認をする ・マルチメディア教材を使い、各自必要な調査すべき事柄について調査をする ・各自が調査した我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみについて確認したこと、なぜそのようなしくみにしたのかについての自分の考えを学習シートに書く  多数決は委員会でもよくやっているよな。委員長として少数意見を大事にして決めるべきなんだな。  スライドだと実際どんなことをしているかわかりやすいな
	5 調査内容の確認	・各自の調査した結果や自分の考えを発表する ・全体で再度確認したい内容について、視点を絞りながらマルチメディア教材を使い、教師側から一斉送信した画面を見ながら確認する
終末	6 課題についてのまとめ	・課題の解答をまとめたものを学習シートに書く
	7 自己評価(コンピュータで記入する) 	・「今日の感想」画面を開いて、自己評価と感想を書く tanosi=A tanosi = 今日の授業は楽しかったか kadai=A kadai = 課題について学習してみたいと思ったか kishu=A kishu = 既習事項や体験を元に考えようとしたか siryou=A siryou = コンピュータの資料でわかりやすかったか wakatta=A wakatta = 今日の学習内容がわかったか kansou=政治は複雑で難しかったけど、国民のことをまとめて、良いほうに頑張っている事が分かった。 自分にも関係あることが分かって良かった。 政治の学習では、たくさん用語が出たけど1つ1つ内容を確認していきたいです。授業とても楽しかったです!
	8 次時の確認	・新たに生まれた疑問を確認する

吹き出しの言葉は、生徒の感想として書かれたものから抜粋した

「今日の感想」の画像は、最後の授業後に書かれ、受信したメールから抜粋した

(ウ) 単元の学習項目

単元の学習項目は【表2】のとおりである。指導実践では、第9時まで実施した。

【表2】学習の流れ

時	学 習 の 流 れ	使用教材	学 習 内 容
1	スタート課題作り「総理になって、国を動かそう」	単元のスタート	修学旅行の写真から自分たちが行ったことがある場所であることを思い出すことで少しでも関係を意識する 内閣総理大臣は国会議員から選ばれることをつかむ 国会は慎重に審議し、より国民の意思を反映できるように二院制をとっていることをつかむ
	総理になるための条件は何か	step1	
	国会議員であること...しかし国会は一つではない 二院制にしている理由は何か	step2	
2	国会議員になる条件は何か	step3	ポスターの写真、選挙の映像から生徒会活動でも行っている選挙が我が国の政治でも行われていることに気付く 選挙によって自分たちの代表を選び、その代表が政治を行う代議制であることをつかむ 選挙の方法は、政局が混乱しないように、また、できるだけ多くの国民の意思を反映できるように工夫して行われることをつかむ
	選挙にはどんな意義があるか		
	日本はどんな方法で選挙を行い、そうしている理由は何か		
3	国会でどのようにして総理大臣を決めているのか	step4	確実に総理大臣に指名されるには、組織的な集票が必要であることをつかむ 選挙の立候補者は、ほとんどの場合、政策を実現するために政党という同じ考えの人が集まった組織を作っていることをつかむ 国民は、自分の考えに近い政党を選ぶことで政治に意思を反映させていることをつかむ ニュースでよく見たり、聞いたりする政党の名前、党首の顔写真から身近なところで触れている内容であることを確認する
	政党とは何か	step5	
4	政党が必要な理由は何か	step6	政治を進める側の立場になった場合に世論を強く意識しなければならぬことや選挙に参加しないことは、世論を正確に示せず、自分たちの意思を政治に反映するのを放棄することであることをつかむ 選ばれた代表は、国会で法律を作ったり、予算を決めたりすることをつかむ 重要な決定ができるように、また、より国民の意思を反映できるように両院の権限には衆議院の優越が認められていることをつかむ 国会の決定は、少数意見を尊重しながら、多数決の原理で行われることをつかむ 多数決の原理は、生徒会活動や学級活動でも使われている方法であることを写真から確認し、これからの生活の中で多数決の留意事項に気を付ける必要があることを考える
	今、日本にある政党と政権の関係を見てみよう		
5	世論とは何か	step7	政治を進める側の立場になった場合に世論を強く意識しなければならぬことや選挙に参加しないことは、世論を正確に示せず、自分たちの意思を政治に反映するのを放棄することであることをつかむ 選ばれた代表は、国会で法律を作ったり、予算を決めたりすることをつかむ 重要な決定ができるように、また、より国民の意思を反映できるように両院の権限には衆議院の優越が認められていることをつかむ 国会の決定は、少数意見を尊重しながら、多数決の原理で行われることをつかむ 多数決の原理は、生徒会活動や学級活動でも使われている方法であることを写真から確認し、これからの生活の中で多数決の留意事項に気を付ける必要があることを考える
	世論を表明することが大切なのはなぜか		
	考えた政策を実現するために必要なことは何か		
6	法律はどこで作られるか	step8	政治を行う内閣は、国会で指名された内閣総理大臣によって作られ、衆議院が解散し総選挙が行われれば内閣は総辞職し、民意を反映した新しい内閣が作られる議院内閣制のしくみを採用していることをスライドショーや衆議院解散のVTRを見てつかむ
	法律はいつ作られるか		
7	法律はどうやって作られるか	step9	国会、内閣と法を守る裁判所で権力を分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていることをつかむ 法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることをつかむ 裁判の種類について裁判官、検察官、弁護士の具体的ななたらきとともにつかむ
8	法律案を出す内閣とは何か	step9	国会、内閣と法を守る裁判所で権力を分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていることをつかむ 法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることをつかむ 裁判の種類について裁判官、検察官、弁護士の具体的ななたらきとともにつかむ
	内閣と国会、国民はどんな関係にあるか		
9	内閣はどんな役割をもつか	step9	国会、内閣と法を守る裁判所で権力を分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていることをつかむ 法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることをつかむ 裁判の種類について裁判官、検察官、弁護士の具体的ななたらきとともにつかむ
	立法権、行政権で国の権力は十分か		
10	三権分立が必要な理由は何か	step9	国会、内閣と法を守る裁判所で権力を分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていることをつかむ 法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることをつかむ 裁判の種類について裁判官、検察官、弁護士の具体的ななたらきとともにつかむ
	裁判所とは何か		
10	裁判はどのように行われているか	step9	国会、内閣と法を守る裁判所で権力を分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていることをつかむ 法に基づく公正な裁判によって人権が守られていることをつかむ 裁判の種類について裁判官、検察官、弁護士の具体的ななたらきとともにつかむ
	裁判はどのように行われているか		

(注) 表中の太文字は、教材に含まれる画像を示している

(2) 実践結果の分析と考察

基本構想に基づく実践の妥当性を、検証計画に従って以下のように分析、考察した。なお、意識調査(補充資料11、12参照)については、途中転出した生徒を除き調査対象は37名とした。

また、テスト(補充資料9、10参照)については、前述の者に加えて、実践中欠席、欠課が多かった者を除き調査対象34名とした。

ア 我が国の政治の学習に対する意欲の変容

【表3】は、我が国の政治の学習に対する意欲の変容についての調査結果である。「我が国の政治について調べてみたいと思うか」という質問では、事前と事後の差は、有意であった。

資料は割愛したが、この調査で、回答した理由を記述させたものを見ると、「興味がない

【表3】事前・事後調査の結果 n=37

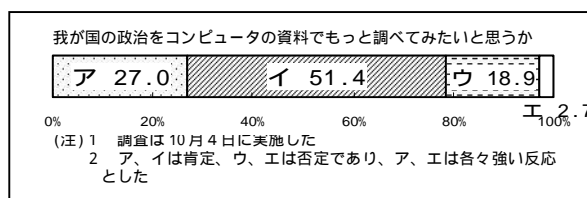
あなたは、我が国の政治について調べてみたいと思うか				
事前 \ 事後	+	-	合計	χ <sup>2</sup> の値 *9.31
+	16	1	17	
-	12	8	20	
合計	28	9	37	

(注) 1 事前調査は9月6日、事後調査は10月4日に実施したものである。  
2 調査は四肢選択のア、イは+反応、ウ、エを-反応とし、ア、エを各々強い反応とした。  
3 <sup>2</sup>検定で用いた公式は次に示すとおりである  
$$b + c > 10 \text{ のとき、 } \chi^2 = \frac{(b - c)^2}{b + c}$$
$$b + c \leq 10 \text{ のとき、 } \chi^2 = \frac{(|b - c| - 1)^2}{b + c}$$
  
(イエーツの修正式)  
なお、bは+反応から-反応に変わった数、cは-反応から+反応に変わった数を表す  
4 <sup>2</sup>の値の\*は、<sup>2</sup>検定において有意水準5%で有意差があることを示す

い」と答えていた生徒が、事前では14名であったのに対して、事後は6名に減っていた。逆に「興味がある」と答えた生徒が事前では4名であったが、事後では9名になっていた。その他、「この学習を通して、政治がおもしろくなった」「もっと知りたい」と事後に答えた生徒が7名いた。また、「国民として大切だから」「自分に関係することだから必要」というように学習の意義を書いている生徒もいた。事後にマイナス反応をした生徒のうち3名は、「授業でだいたい知ることができた」という理由を書いていた。学習への満足感があるので今は調べてみたいと思わないという状況にあったようである。

【図5】は、「我が国の政治をコンピュータの資料でもっと調べてみたいと思うか」という質問項目の結果である。78.4%の生徒が肯定的な反応を示している。調査では、生徒に意味が分かりやすいように、マルチメディア教材のことを「コンピュータの資料」と書いた。肯定的な反応をした理由をまとめたものが【表4】である。「コンピュータの資料で調べて分かりやすかったので、もっと調べてみたいと思った」と答えた生徒が最も多く、「学習してきて興味がわいたから」「パソコンを使っての授業が楽しかったから」という理由が続いている。これは、マルチメディア教材が、生徒に分かりやすさを感じさせ、学習への意欲をもたせるものになっていたからではないかと思われる。

【表5】は、「我が国の政治について自分の意見をもつことは必要だと思うか」という質問項目の結果である。事前と事後の調査で有意差が見られなかったが、37名のうち、事前で28名(75.7%)、事後で31名(83.8%)と、どちらの場合もプラスの反応が多かったことが分かる。さらに、その理由について確認すると、内容に違いが見られた。事前では「意見をもった方がいいから」という一般論が多かった。それに対して、事後の回答で事前と比較して大きく内容に変化が見られたものを抜粋したものが【表6】である。「世論」「意見が反映される」「主権」という用語を使い、学習した内容をつかんだ上で、自分の言葉で政治にどうかかわっていくべきかを述べているものが見られた。学習内容について問うテストではない調査だが、学習したことを生かそうという意欲の表れであると考え、この生徒たちには、この単元で目指す学習内容が



【図5】コンピュータ資料の調査の結果 n = 37

【表4】我が国の政治をコンピュータの資料でもっと調べてみたいと思った理由

・分かりやすかった	10名
・興味を持った (もっと調べたいとができた)	6名
・楽しく学べた	5名
・資料が多かった (充実していた)	3名
・その他 (足りない情報はインターネットで調べられる、無答)	5名

(注) 1 調査は10月4日に実施した  
2 【図5】の結果のうち、ア、イと回答した者の理由をまとめた(37名中29名分)

【表5】事前・事後調査の結果 n = 37

あなたは、我が国の政治について自分の意見をもつことは必要だと思うか				2の値
事前 \ 事後	+	-	合計	
+	24	4	28	0.82
-	7	2	9	
合計	31	6	37	

(注)【表3】に同じ

【表6】事前・事後調査の理由からの抜粋

事後	回答の変化
国を良くしていくために必要だと思う	- +
国民の意見が政治に反映されていくから	++ ++
選挙などの世論で自分の意見が反映されるから	++ ++
自分の意見をもつてない、好き勝手な政治をするかもしれないから	++ ++
国民が政治にとってすごく大事だから	- +
自分の意見を反映してほしい	++ ++
一人の国民として自覚をもつため	++ ++
自分の意見が政治に反映されることもあるから	+ ++
意見をもたない、何も変らないと思うから	- +
自分の意見をもつことほど大切だと思ったから	- +
意見は反映されるべきだと思うから	+ ++
めちゃくちゃな国になってしまうから	+ +
一部の人の意見で決定されては困るから	- +
主権は国民にあるから	++ ++
自分の周りの制度が変わったりするから、自分の意見をもつべきだと思う	+ ++

(注) 1 調査は10月4日に実施した  
2 事後に記述内容が大きく変化した者を抜粋した

深く理解されていたものとする。

【表7】は、「我が国の政治についての学習をこれからの生活や将来に生かそうと思うか」という質問について調べた結果である。事前と事後の差は有意であった。生徒が、政治にかかわる組織や政治のしくみを自分なりの言葉で説明でき、現在の生活や将来あるべき姿を言えるためには、これからの生活や将来に生かそうという意欲が必要であるとする。この学習でそういう資質を育てることができたのではないかと考える。

以上のことから、開発したマルチメディア教材を活用して授業を行うことは、我が国の政治について学習することへの生徒の意欲を高め、理解を深める土台をつくる上で、有効であったとする。

#### イ 我が国の政治について学習することへの理解の深まり

我が国の政治について学習することへの理解の深まりについて、単元の事前と事後に行ったテスト【表8】、単元テスト【表9】、各時の終末に行った生徒の自己評価【図6】を基に分析した。

単元テストでは、全体の正答率が83.8%と高い数値を示した。特に、上位群と中位群の生徒の正答率は高かった。このことから単元の学習を終えて、用語とその意味やしきみとその説明がきちんと結び付いている生徒が多いと考えられる。各授業での生徒の自己評価の中から「今日の学習について分かったか」という項目についてまとめたものを見ると、97.9%が肯定している。そのうち59.9%は強い肯定を示している。このことから授業時間終了時には、ほとんどの生徒は学習内容が分かったという実感をもっていることが分かる。

事前・事後テストの有効度指数は53で、期待した値ではなかったが、単元テストや生徒の自己評価の良い結果を考慮すれば、事前・事後テスト問題がやや難しかったものにとらえている。さらに、授業終了からテストの実施までの期間が長くなってしまったことが影響していることも考えられる。下位群の生徒の理解の定着については課題が残っており、教材の中に繰り返し確認できるドリルのページを入れるというような工夫が必要である。

#### ウ 我が国の政治について理解を深める教材としてのマルチメディア教材の有用性

【表10】は、「我が国の政治と同じようなことが、学校生活の中にあると思うか」という質問について調べた結果である。事前と事後の差は有意であった。その内容を書かせたところ「生徒会役員選挙」「生徒総会や中央委員会、学級会での話し合いや決め方」と具体的に書くこと

【表7】事前・事後調査の結果 n = 37

あなたは、我が国の政治についての学習をこれからの生活や将来に生かそうと思うか。

事前\事後	+	-	合計	χ <sup>2</sup> の値
+	20	1	21	* 4.90
-	9	7	16	
合計	29	8	37	

(注)【表3】に同じ

【表8】事前・事後テストの結果 n = 34

全体	テスト	正答率 (%)	有効度指数
	事前	5.7	
事後	55.9		

(注) 1 事前テストは9月6日、事後テストは10月4日に実施した  
2 有効度指数算出に用いた公式は次のとおりである

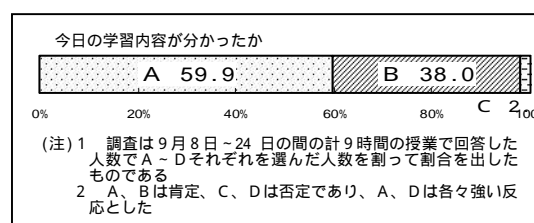
$$\text{有効度指数} = \frac{P_2 - P_1}{\frac{100 - P_1}{P_1}} \times 100$$

P<sub>1</sub>: 事前テスト P<sub>2</sub>: 事後テスト

【表9】単元テストの結果 n = 33

	平均点		
	全問	「しきみ」の 説明の問題	記述問題
全体	83.8	83.5	72.7
上位群	99.3	98.6	100.0
中位群	84.8	82.9	77.8
下位群	62.5	66.1	29.2

(注) 1 10月21日に実施した  
2 事後テストで集計に入れなかった者はここでも除いた。さらにテスト当日1名欠席だったので33名である



【図6】授業後の自己評価の結果

ができる生徒がほとんどであった。また、【図7】は、「我が国の政治と同じことが学校生活にあるのを知るのにマルチメディア教材が役立ったか」を調査したものである。全員が肯定の反応をしている。自分が生活するところに我が国の政治と共通することがあることに気付かせることができたという点で、自分の生活に置き換えてとらえるのに、マルチメディア教材が有効であったと考えられる。

【図8】は「学習内容を分かりやすくするのに、コンピュータの資料が役立ったか」という質問に対する調査結果である。全員が肯定の反応を示し、7割以上が強い肯定の反応を示した。【図9】は、授業後の自己評価をまとめたものである。ここでは、8割の生徒が強い肯定を示している。

分かりやすかった理由として生徒が書いた主な内容を、下にまとめた。写真やスライド、動画、アニメーションを使ったことで、政治にかかわる組織や政治のしくみについて「見やすい」「感じが分かりやすい」「印象に残る」資料にすることができたのではないかと考えられる。

このことから、マルチメディア教材の有効性はすでに知られているが、我が国の政治についてとらえることを容易にする上でも有効であったと考える。

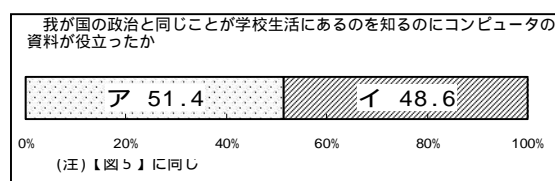
- ・(政党の党首の)写真や(総理の決め方の)スライドなどで見やすい
- ・資料や映像もあってどのような感じが分かりやすい
- ・(三権分立など)図でまとめてあり、とても印象に残るため、分かりやすかった
- ・文字がはっきり見える
- ・コンピュータを使うことにより、自分で進んで調べやすかったから
- ・(選挙の様子)の動画やグラフがあって分かりやすい
- ・(選挙のやり方)のアニメーションで分かりやすかったし、パスワード付きで、おもしろかったから
- ・大切な語句などは違う色だったから
- ・図の中に説明があって分かりやすかった

【表10】事前・事後調査の結果 n = 37

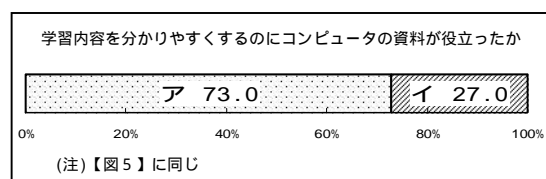
あなたは、我が国の政治と同じようなことが学校生活の中にあると思うか

事前 \ 事後	+	-	合計	χ <sup>2</sup> の値 * 15.00
+	19	0	19	
-	15	3	18	
合計	34	3	37	

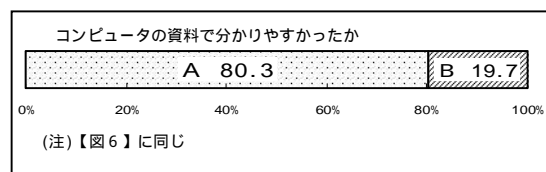
(注)【表3】に同じ



【図7】コンピュータ資料の調査の結果 n = 37



【図8】コンピュータ資料の調査の結果 n = 37



【図9】授業後の自己評価の結果

## 6 中学校社会科公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する研究のまとめ

中学校社会科公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導に関して、成果と課題をまとめる。

### (1) 成果

ア 我が国の政治にかかわる組織のしくみやはたらき、人々の様子、生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発することができた。

イ 開発したマルチメディア教材を用いたことで、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみについて、政治にかかわる立場になってとらえさせたり、自分の生活に置き換えてとらえさせたりする指導を行うことができ、我が国の政治について学習する意欲、これからの生活や将来

に生かそうとする意欲を高めることができた。

ウ 開発したマルチメディア教材を用いて調査させたり、確認させたりすることにより、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみについて意味をとらえさせ、自分や生活とのかかわりをとらえさせることができた。

## (2) 課題

ア 下位群の生徒の理解の定着を図るため、教材の中に繰り返し確認できるドリルのページを入れる工夫を行い、教材を開発する必要がある。( 補充資料 14 の p.39 参照 )

イ 新しい画像、生活との結び付きをとらえられる画像を日々収集する必要がある。

以上のことから、課題はあるもののマルチメディア教材を開発し、活用することが、我が国の政治について理解を深めるのに有効であると考えます。この実践によって、最初にとらえた生徒の実態が改善され、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみを自分の生活と結びつけてとらえ、理解を深めることができるようになってきていると考えます。この実践を継続していけば、我が国の政治についてより理解を深めることができるであろうと考えます。

## 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

本研究をとおして得られた成果と課題を概括的にまとめることにします。

#### (1) 中学校公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本構想の立案

中学校公民的分野における我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する基本的な考え方やマルチメディア教材を用いる意義及びマルチメディア教材を用いた指導の在り方を明らかにし、基本構想を立案することができた。

#### (2) 基本構想に基づく指導プログラムの作成

基本構想に基づいて我が国の政治について理解を深める指導についての指導プログラムを作成することができた。その際、目標行動の分析を行い、マルチメディア教材を用いた指導を学習活動の中に位置付けることができた。

#### (3) 基本構想に基づくマルチメディア教材の開発

基本構想に基づいて我が国の政治について理解を深めるためのマルチメディア教材を開発することができた。その際、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみの意味をとらえさせやすくしたり、生活に置き換えてとらえられるようにしたりできるように工夫することができた。

#### (4) 授業実践及び実践結果の分析と考察

基本構想に基づいて作成した教材を用いて授業実践を行い、事前・事後テストや単元テストの結果、授業後の自己評価や感想、意識調査の結果を分析、考察することができた。このことにより、マルチメディア教材を用いて我が国の政治にかかわる立場にたち主権者としてとらえさせ、我が国の政治を自分の生活に置き換えてとらえさせる指導を行うことは、我が国の政治について理解を深めるのに有効であることを確かめることができた。

#### (5) 我が国の政治について理解を深める指導の在り方に関する研究のまとめ

実践結果の分析と考察に基づいて我が国の政治について理解を深める指導の在り方についてまとめることができた。



## 2 今後の課題

本研究において開発したマルチメディア教材の形式は、他の単元にも応用できるものとする。マルチメディア教材を活用することにより理解を深めることができると考えられる単元や主題を探り、教材を開発して行きたいと考える。

### <おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と生徒の皆さんに心から感謝申し上げます、結びの言葉といたします。

### 【参考文献】

- 石田光義(2002), 『図解雑学政治のしくみ』, ナツメ社  
工藤文三編(2001), 『中学校社会科指導展開事例集公民』, 東京法令出版  
北夫倫彦・速水敏彦(1986), 『わかる授業の心理学 教育心理学入門』, 有斐閣  
授業技法研究会編(1986), 『指導プログラムの理論と作成』, (財)才能開発教育研究財団  
授業技法研究会編(1986), 『指導プログラムの理論と作成』, (財)才能開発教育研究財団  
澁澤文隆編(2002), 『新しい時代の学力づくり・授業づくり中学校社会科のリニューアルと授業デザイン』, 明治図書  
澁澤文隆・佐伯真人・大杉昭英編著(2000), 『改訂中学校学習指導要領の展開社会科編』, 明治図書  
夢寐郎・伊達千代共著(2004), 『今日から始めるFlash MX 2004 簡単入門』, 成美堂出版  
森分浩二・片上宗二編(2000), 『社会科重要用語 300 の基礎知識』, 明治図書

### 【引用Webページ】

- 明るい選挙推進協会 <http://www.akaruisenkyo.or.jp/>  
岩手日報社 <http://www.iwate-np.co.jp/>  
釜石市選挙管理委員会 <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/senkan/index.htm>  
公明党 <http://www.komei.or.jp/>  
最高裁判所 <http://courtdomino2.courts.go.jp/home.nsf>  
社会民主党 <http://www5.sdp.or.jp/>  
衆議院 <http://www.shugin.go.jp/index.nsf/html/index.htm>  
首相官邸 <http://www.kantei.go.jp/>  
時事通信社 <http://www.jiji.com/>  
自由民主党 <http://www.jimin.jp/>  
選挙情報専門サイト Election <http://www.election.co.jp/>  
総務省 <http://www.soumu.go.jp/index.html>  
日本共産党 <http://www.jcp.or.jp/>  
民主党 <http://www.dpj.or.jp/>  
IPA(独立行政法人情報処理推進機構) <http://www.ipa.go.jp/>  
MSN 毎日インタラクティブ <http://www.mainichi-msn.co.jp/>

# 補 充 資 料

## < 目 次 >

【資料 1】	我が国の政治の指導について	補資 1
【資料 2】	第 1 次「内閣総理大臣になるための条件」の学習指導	補資 4
【資料 3】	第 2 次「日本の選挙の意義としくみ」の学習指導	補資 6
【資料 4】	第 3 次「内閣総理大臣の指名と政党政治」の学習指導	補資 8
【資料 5】	第 4 次「世論の大切さ」の学習指導	補資 10
【資料 6】	第 5 次「国会のはたらきと運営」の学習指導	補資 12
【資料 7】	第 6 次「内閣のはたらき」の学習指導	補資 15
【資料 8】	第 7 次「司法権と三権分立の意義」の学習指導	補資 17
【資料 9】	事前・事後テスト	補資 19
【資料 10】	単元テスト	補資 21
【資料 11】	「我が国の政治の学習」についての事前・事後調査	補資 23
【資料 12】	コンピュータ資料についての意識調査	補資 24
【資料 13】	著作権関係一覧表	補資 25
【資料 14】	コンピュータ教材の説明	補資 27

## 【資料1】 我が国の政治の指導について

### 中学校社会科公民的分野指導プログラム

学校名 釜石市立釜石第一中学校

対象学級 3年(男子25名 女子13名 計38名)

指導者 齊藤雅彦

単元名 「民主政治と政治参加(我が国の政治)」

単元設定の理由

#### 1 教材観

日本は法治国家である。国は法律によって動いている。社会にはルールがあり、それを守ることで多くの人が幸せに生活できること、我々の権利は、先人の努力によって保障されるようになり、現在では法によって保障されていることを生徒は学習してきている。その学習をもとにこの単元では、法は、我々が自分の意思の代表者として選んだ国会議員によってつくられ、国会から指名された内閣総理大臣を中心とする内閣が実行し、裁判所が法にある権利を保障することを学習する。このしくみによって、我々の豊かで自由な生活が守られていること、これからも守り、発展させるために、このしくみの理解が必要であり、選挙で意思を表明しこのしくみを大切にしなければならないことを、日本国民として実感させなければならない。民主的な国家社会の形成者として必要な公民的資質を育てることが、中学校学習指導要領社会科の目標の中に述べられている。その中心的な内容がこの単元であると考えます。

学習指導要領公民的分野の目標では、「個人と社会とのかかわりを中心に理解を深める」ことがあげられている。民主主義社会に生きる人間を育成するという意味で、自分とのかかわりを意識させ、生活に置き換えてとらえさせながら、この単元の学習内容の理解を深めることは、大変重要であると考えます。

#### 2 生徒観

この単元の学習に対する生徒の意識を調査してみた。現在の3年生の生徒に行った実態調査の結果では、「あなたは、政治について学習してみたいと思いますか。」という問いに対して、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」をあわせて62.1%であった。この学習に対する消極的な態度がうかがえる。その理由は、「興味がない」が圧倒的に多く、次いで「面倒くさい」「覚えられない」「自分には関係ない」「難しそう」という回答がみられた。

実態調査の別な項目で、日常生活での政治に関する情報収集の方法や情報を得ようとする意欲について調べた。その結果、新聞からよりもテレビから情報を得る生徒が多かった。また、「身近な生活で政治との関係を感じるのはどんなときですか。」という質問に対し、「テレビや新聞でニュースをみたとき」「選挙のとき」と回答した生徒が約50%ずつ(複数回答)と多かった。

この単元での学習内容は前に述べたように大変重要であるが、生徒にとって直接かかわることが少なく、一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容である。「生徒にとって直接かかわることが少ない」のは、地理的に遠い場所で行われていること、20歳以上にならなければ参加する権利が得られないこと、道路が造られたり、公共施設が造られたりして自分たちの生活が支えられていることを政治によるものだと思えずきにくいことが原因と考えられる。学校生活で当たり前に行われている学級会や生徒会活動での物事の決め方「多数決」や生徒会の役員を決める方法「選挙」が国の政治と関連することも意識されてはいない。授業以外でこの単元の内容にかかわ

る情報を得るのが、ほとんどの場合、新聞やテレビなどのメディアをとおしたものであり自分から目を向けることは少ない。「一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容」なのは、学習する対象が、大人社会のものであること、加えて国家レベルの機関の組織やその働きなので、語句そのものの意味を感覚でとらえにくく、意味がわからないのでとらえにくいと考えられる。この単元では、これらの状況を改善する必要がある。

これらのことから、自分の生活に置き換えてとらえさせ、内容がわかりやすくなる教材を作成し活用すること、画像で情報を得られる教材、選挙に関する項目を盛り込んだ教材を用いて指導することが、積極的に理解しようとする意欲を持たせるのに有効であるとする。

### 3 指導観

本単元では、自分たちの自由で豊かな生活が、自分たちの意思を反映する民主政治のしくみのおかげであり、積極的に政治に参加してそのしくみを守り、発展させていかなければならないということを理解させる。その際、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえさせることで、理解を深めさせたい。

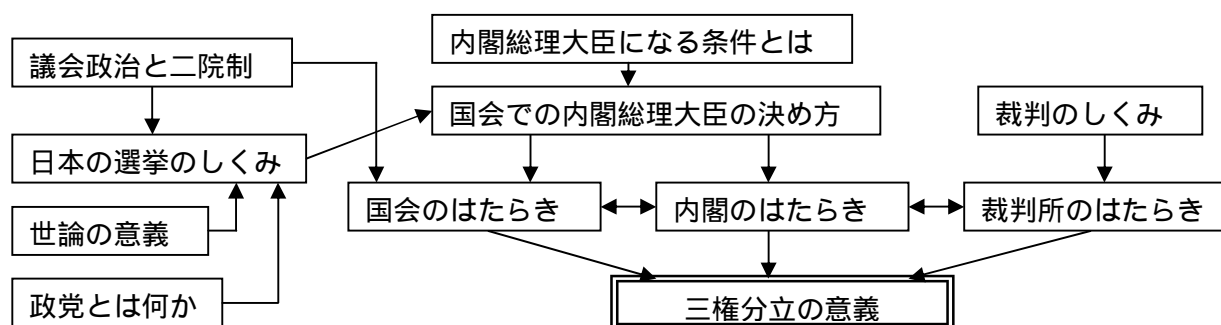
理解を深めた生徒は、我が国の政治にかかわる組織や政治のしくみを自分なりの言葉で説明でき、生活や将来あるべき姿を考えるととらえる。そのようにするためには、学習を進めるに当たって、自分や身の回りの生活とのかかわりをとらえさせ、生徒の学習に対する意欲を喚起する必要がある。また、「一つ一つの用語の意味をとらえるのが難しい内容」であることをできるだけ解消したい。

そのために、我が国の政治にかかわる組織のしくみやはたらき、人々の様子と生徒会活動の様子を画像で表示するマルチメディア教材を開発し、活用することで、用語の意味をわかりやすくさせ、自分の生活に置き換えてとらえさせたい。また、国民が主権者であり、政治の主人公であるということをとらえさせるために、政治を進めようとする立場に立たせて考えさせていきたい。

#### 単元の指導目標

- 1 我が国の政治のしくみや政治に参加する意義について、政治を進める立場で考えたり、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえながら調べたり、考えたりしようとする態度を育てる。
- 2 我が国の政治のしくみやその取組、政治参加の現状について、そのよさや課題点を考察し、自分の考えをまとめる力を育てる。
- 3 我が国の政治のしくみやその取組、政治参加の現状について、必要な資料を検索したり、比較したりして、説明に活用できる力を育てる。
- 4 我が国の政治の組織やしくみ、そのしくみを守り発展させるための積極的な政治参加の必要性を、自分や身の回りの生活に置き換えてとらえさせながら理解させる。

#### 単元の教材構造



単元の指導計画と配当時間

時	主 題 名	学 習 内 容
1	内閣総理大臣になるための条件	内閣総理大臣は国会議員から選ばれること 国会は慎重に審議し、より国民の意思を反映できるように二院制をとっていること
2	日本の選挙の意義としくみ	選挙によって自分たちの代表を選び、その代表が政治を行う代議制（間接民主制、議会制民主主義）であること。（また、それによって国民の意思が反映されるので、自由で豊かな生活ができること） 選挙の方法は、政局が混乱しないように、また、できるだけ多くの国民の意思を反映できるように工夫して行われること
3	内閣総理大臣の指名と政党政治	選挙の立候補者は、ほとんどの場合、政策を実現するために政党という同じ考えの人が集まった組織をつくって、国民は、自分の考えに近い政党を選ぶことで政治に反映させていること
4		
5	世論の大切さ	選挙に参加しないことは、世論を正確に示せず、自分たちの意思を政治に反映することを放棄することであること
6	国会の働きと運営	選ばれた代表は、国会で法律をつくったり（国会は国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関である）、予算を決めたりすること。それに基づいて政治が行われること 重要な決定ができるように、また、より国民の意思を反映できるように両院の権限には衆議院の優越が認められていること 国会での決定は、少数意見を尊重しながら、多数決の原理で行われること
7		
8	内閣のはたらきと議院内閣制	政治を行う内閣は、国会で指名された内閣総理大臣によってつくり、衆議院が解散し総選挙が行われれば内閣は総辞職し、民意を反映した新しい内閣が作られる議院内閣制のしくみを採用していること
9	司法権と三権分立の意義	国会、内閣と法を守る裁判所で権力分立し、権力が濫用されるのを防ぐとともに、国民の意思が反映されるしくみになっていること
10	裁判所のしくみ	法に基づく公正な裁判によって人権が守られていること

【資料2】 第1次「内閣総理大臣になるための条件」の学習指導

本時の学習指導（1 / 10）

1 主題 「内閣総理大臣になるための条件」

2 指導目標

日本の国会は二院制であることをふまえた上で、資料から内閣総理大臣になるための条件を読み取らせ、国会議員で、国会に指名される必要があることを理解させるとともに、総理大臣になるまでの手続きについて学習する意欲を持たせる。

3 目標行動（Gとする）

内閣総理大臣になるための条件を、慎重に審議し、より国民の意思を反映できるように日本の国会が二院制であることをふまえて、内閣総理大臣になるための条件が国会議員で、国会に指名される必要があることを日本国憲法の条文や表の資料から読み取って説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

R 日本の政治のリーダーが内閣総理大臣であることを言える。

R 現在の内閣総理大臣の写真を見て、役職を指摘できる。

内閣総理大臣になるための条件を、日本国憲法の条文から読み取り書くことができる。

内閣総理大臣になるためには、文民であり、国会議員であり、国会で指名されなければならないことを説明できる。

R 国会議事堂が東京にあると言える。

R 国会議事堂の向かって左が衆議院、右が参議院であると言える。

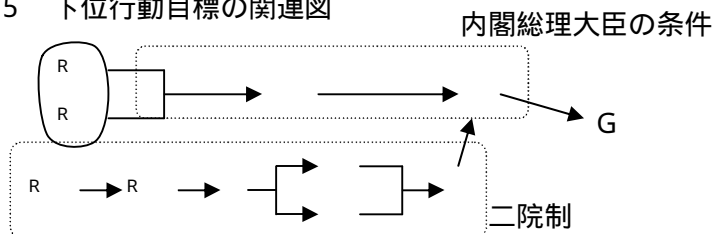
国会は、衆議院と参議院の二院制であることを資料から読み取り書くことができる。

国会議員には、衆議院議員と参議院議員があることを言える

衆議院と参議院には、議員数、被選挙権の年齢、任期に違いがあることを資料から読み取り書くことができる。

日本で二院制にしている理由を、ヒントをもとにして考え、説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 日本の政治のリーダーを確認する R R</p> <p>2 課題把握 内閣総理大臣になるための条件を調べよう G</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足 ← NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>YES</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>教材・教具と留意事項</p> <p>PC操作の注意を話す。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で、これから学習することをつかませシートに書かせる。</p> <p>学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>
	<展開>		



<p>3 調査1</p> <p>内閣総理大臣になる条件を日本国憲法の条文からさがす</p> <p>内閣総理大臣になる条件</p> <p>[評価1]</p> <p>内閣総理大臣になる条件を言えたか</p> <p>国会議員</p> <p>4 調査2</p> <p>国会には二つの議院があることをつかむ R R</p> <p>二つの院の違いをつかみ、二院制にしている理由を考える</p> <p>[評価2]</p> <p>二院制とそうしている理由を説明できたか</p> <p>国民の意思をより反映するため</p> <p>30分</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される条文から必要な部分を見つけ学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>内閣総理大臣になるためには、国会議員であり国会で指名されることが条件であることを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料から必要な部分を学習シートに書かせる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料をヒントに考えさせシートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>被選挙権の年齢や選ばれ方に違いがあり、慎重に審議することで国民の意思が反映されることを確かめる。</p>
<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>5 ポストテスト G</p> <p>内閣総理大臣になるための条件は(国会議員) 国会は(国民の意思をより反映するため二院制)</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告(選挙について)</p> <p>10分</p>		<p>学習シート</p> <p>今日の課題の答えを二院制をふまえた上で確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材</p> <p>感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

【資料3】 第2次「日本の選挙の意義としくみ」の学習指導

本時の学習指導（2、3 / 10）

1 主題 「日本の選挙の意義としくみ」

2 指導目標

グラフ、画像、図から日本の選挙のしくみを読み取らせ、その方法の工夫や選挙の意義を考えさせ、国民主権が選挙により実行され、国民の意思を反映できるように工夫されていることを理解させる。そして、選挙権を大切にしようとする態度を育てる。

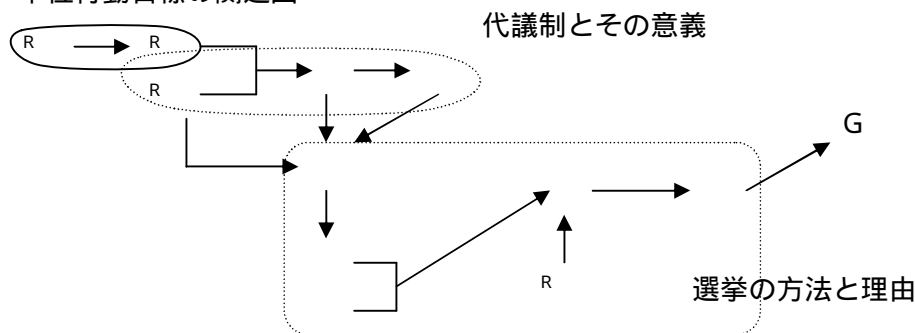
3 目標行動（Gとする）

日本は代表者が政治を行う代議制のしくみを探っているので、選挙が国民の意思を反映する重要なものであり、できるだけ正確に国民の意思を反映できるように選挙制度が工夫されていることを説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

- R 内閣総理大臣は国会議員から選ばれることを思い出して言える。
- R 国会議員になるためには、選挙で選ばなければならないことを指摘できる。
- R 主権者は国民であることを思い出して言える。  
主権を実行する方法は代議制であることを言える。  
代議制とは何か説明できる。  
主権者である自分たちの代表を選ぶのだから選挙が重要であることを説明できる。  
国民の代表を選ぶのだから、選挙の方法は様々な工夫がされ行われていることを説明できる。
- R 選挙権、被選挙権の条件を言える。  
代表を選ぶときは、国会議員以外にも選挙を行うことがよくあることを指摘できる。  
日本の衆議院議員選挙、参議院議員選挙はどのような方法で行われているのか説明できる。  
日本の衆議院議員選挙を例に、なぜ二つの方法を用いているかを説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 国会議員になる方法を考える R R</p> <p>2 課題把握 日本の選挙はどのような方法を調べよう</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足 ← NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>YES</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>総理大臣は国会議員でなければならないことを思い出させる。 選挙の方法を意義と方法を問う。 学習シート</p> <p>これから学習することをつかませシートに書かせる。 学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>
	<展開>		

<p>3 調査1 選挙の意義を考 える<sup>R</sup> 代議制の意味を つかみながら選挙 の意義を説明する</p> <p>[評価1] 選挙の意義を 説明できたか 国民主権の実行</p> <p>4 調査2 日本の選挙のし くみをつかむ 選挙権、被選挙権<sup>R</sup> 小選挙区選挙 比例代表選挙 選挙区選挙</p> <p>選挙の方法の理由</p> <p>[評価2] 選挙の方法と それを用いて いる理由を説 明できたか 政局を安定させな がら国民の意思を 反映する</p> <p>80 分</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料を参考にして考え、学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード 国会議員は主権者である自分たちの代表であり、それを選ぶことが主権の実行にあたるので選挙が重要だと確かめる。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>問答法により既習事項の確認する。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料から必要な部分を学習シートに書かせる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料をヒントに考えさせシートに書かせ発表させる。</p> <p>ホワイトボード より正確に国民の意思を反映し、政局を安定させるために、選挙の方法が工夫されていることを確かめる。</p>
<p>&lt;まとめ&gt; 5 本時のまとめG 選挙は国民主権を実行する手段。日本の選挙の方法は3種類で政局を安定させながら国民の意思を反映させようとしている。</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告(政党について)</p> <p>10 分</p>		<p>学習シート 今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材 感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

【資料4】 第3次「内閣総理大臣の指名と政党政治」の学習指導

本時の学習指導（4 / 10）

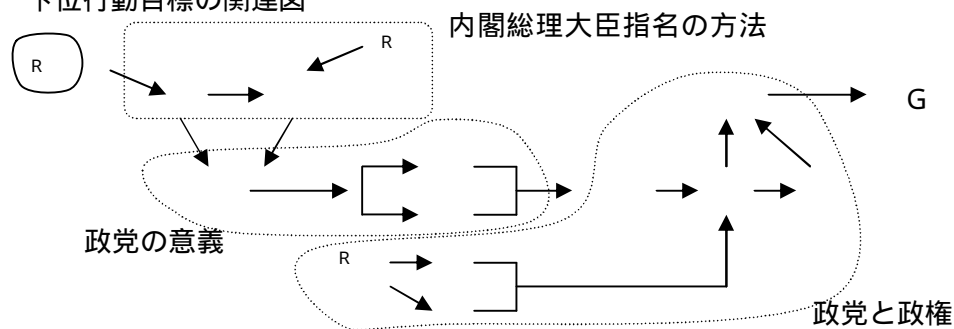
- 1 主題 「内閣総理大臣の指名と政党政治」
- 2 指導目標
 

内閣総理大臣の指名の方法を多数決の原理という視点で読み取らせ、政策を実現させるためには政党が必要であることを理解させるとともに、現在あるそれぞれの政党の考え方に興味を持たせる。
- 3 目標行動（Gとする）
 

政策を実現するためには政党という組織が必要であり、国民は自分の考えに最も近い政党を選ぶことで、国会議員、さらに内閣総理大臣を選び自分の意思を反映することになることを説明できる。
- 4 下位行動目標とその関連（<sup>R</sup> はレディネスとする）
 

<sup>R</sup> 日本の国会が二院制であることを思い出して言える。  
<sup>R</sup> 内閣総理大臣は国会で指名されることを思い出して言える。  
 内閣総理大臣は、国会で多数決によって指名されなければならないことを説明できる。  
 衆議院、参議院で違う指名をしたときは、最終的に衆議院の議決になることを指摘できる。  
 個々バラバラでは、内閣総理大臣になり政策を実現するのは難しいことを指摘できる。  
 政党とは何のための組織かを説明できる。  
 一定の政策を実現するためには、政権を取る必要があることを指摘できる。  
 政権を取るためには、同じ考えの仲間を集めた政党が必要であることを指摘できる。  
<sup>R</sup> 有権者（国民）は、選挙で代表を選ぶことを思い出して言える。  
<sup>R</sup> 有権者（国民）は、ある程度まとまった意見・政策から自分に近いものを選ぶことで、自分の意思を国政に反映できることを説明できる。  
 国民の意思が一つだけにまとめられるのは難しいということを指摘できる。  
 二党制、多党制の意味を言える。  
 与党、野党がどんな立場の政党かを日本の主な政党を例に言える  
 与党になれるということが、自分たちの政策を実現する内閣総理大臣を指名できることにつながることを説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 総理は国会で指名されることを思い出す<sup>R</sup></p> <p>2 課題把握 内閣総理大臣になれるのはどんな国会議員かを調べよう</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足</p> <p>NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>総理は国会議員の中から国会で指名されることを思い出させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>これから学習することをつかませシートに書かせる。</p> <p>学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>

<p>30分</p>	<p>&lt;展開&gt;</p> <p>3 調査1 総理大臣の指名のされ方を調べ、 どういう人が指名されるか考える R</p> <p>[評価1] 総理指名の方法とその条件を 言えたか 多数決で勝つこと</p> <p>4 調査2 政党の意義を調べる</p> <p>[評価2] 政党の意義を説明できたか 政治を安定させ、国民意思を反映できる</p> <p>5 調査3 日本の主な政党を例に政党と政権の 関係を調べる R</p> <p>[評価3] どんな政党が与党になれるかを説明 できたか 国民の支持を集め国会で多数議席 をとった政党</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料で総理指名方法を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>総理は多数決の原理で指名されるので確実に総理になるためには組織が必要なことを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料から考え、学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>政治を安定させ、国民の意思が反映するには政党が必要なことを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料から調べ、考えさせ、シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>政権を持つ与党とそれを批判する野党があり、与党になるには国民の支持を集める必要があることを確かめる。それが総理指名につながることも確かめる。</p>
<p>10分</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>5 本時のまとめ G 総理になれるのは、国会で多数を占める与党の代表である</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（世論について）</p>		<p>学習シート</p> <p>今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材</p> <p>感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

【資料5】 第4次「世論の大切さ」の学習指導

本時の学習指導（5 / 10）

1 主題 「世論の大切さ」

2 指導目標

国民の意思を政治に反映させるための方法を考えさせ、世論を形成し示すことが重要であることを理解させ、将来選挙に積極的に参加したり、マスコミによる情報に対して自分の考えを持つたりする意欲を持たせる。

3 目標行動（Gとする）

世論を形成し示す主な方法として、選挙やマスコミによる情報があることを調べ、その内容から、自分たちの意思を政治に反映するためには世論を形成し生かすことが大切であることを説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

R 政治に対する自分たちの意見を表現する方法を自分なりに考え、話すことができる。  
世論の意味を説明できる。

世論をあらわす最も重要な方法が選挙であることを指摘できる。

国政選挙の投票率が下がってきていることを資料から指摘できる。

選挙に行かない人の理由を資料から指摘できる。

選挙権を放棄することは主権を放棄することになり、国民の意思が正確に政治に反映されないという問題点を説明できる。

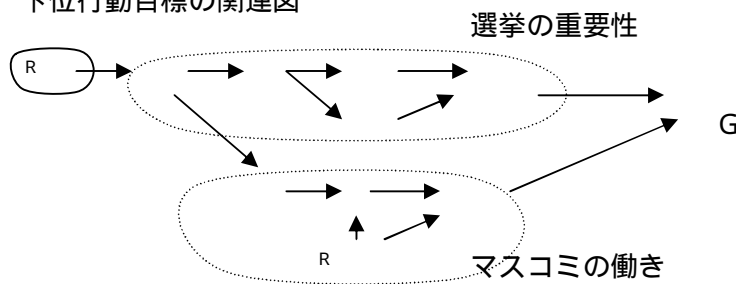
世論をあらわす他の手段として、マスコミの働きを指摘できる。

マスコミとは何かを説明できる。

R 過去に情報を操作されたり制限されたりした例をあげることができる。

表現の自由を守ること、モラルを守ることや受け取る側が正しい判断力を身につけることの大切さを説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 国民の意思はどのくらい反映されているか R</p> <p>2 課題把握 国民の意思を反</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足</p> <p>NO</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p>	<p>国民の意思を表現する方法を考えさせる。</p> <p>学習シート</p> <p>これから学習することをつかませシートに書かせる。</p> <p>学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>



10分	映する大切さを考えよう		
30分	<p>&lt;展開&gt;</p> <p>3 調査1 世論を表す最も重要な方法である選挙が生かされているか考える</p> <p>[評価1] 世論形成における選挙の重要性を説明できたか 国民の意思を反映する最も重要な方法</p> <p>4 調査2 マスコミの働きを調べ、注意すべきことを確かめる</p> <p>R</p> <p>[評価2] マスコミの働きを説明できたか 広く早く情報を伝え、政治に強く影響を与える</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料で選挙の投票の現状を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>選挙が世論を形成し、国民の意思を政治に反映する最も重要な方法であることを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料から考え、学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>国民の意思が反映する世論の形成にマスコミが大きく影響していることを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材</p> <p>教材の画面をみながら、報道の自由、受け取る側の心構えを確かめる。</p>
10分	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>5 本時のまとめ G 世論を選挙やマスコミで形成することが政治に反映するために重要である</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（法律を作るについて）</p>		<p>学習シート</p> <p>今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材</p> <p>感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

【資料6】 第5次「国会のはたらきと運営」の学習指導

本時の学習指導（6、7 / 10）

1 主題 「国会のはたらきと運営」

2 指導目標

国会は国の唯一の立法機関であり、法律を作ったり、予算を議決したりすることやその過程を資料から読み取らせ、多数決の原理を用いていることと衆議院の優越を認めていることを理解させる。また、多数決を用いる際の留意事項及び衆議院の優越の理由を考えさせる。

3 目標行動（Gとする）

国会は国で唯一法律を作れる機関であり、その決定には多数決の原理が用いられていることとその留意事項、衆議院の優越が用いられていることとその理由を説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

R 現代の社会が法律というルールの中で秩序を保っていることを思い出して言える。

国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることを説明できる。

国民の代表者による組織なので、最高機関と位置づけられていることを言える。

立法機関の意味を言える。

唯一の立法機関ということが、国会でしか法律を作れず、他の干渉を受けないことであると説明できる。

法律を作成することができる時期や期間を言える。

国会には、常会、臨時会、特別会があることを言える。

法律がどのようにして作られるか説明できる。

法律案を提出するのが内閣か国会議員であることを言える。

委員会で話し合った後本会議で話し合い決定するというおおまかな流れが言える。

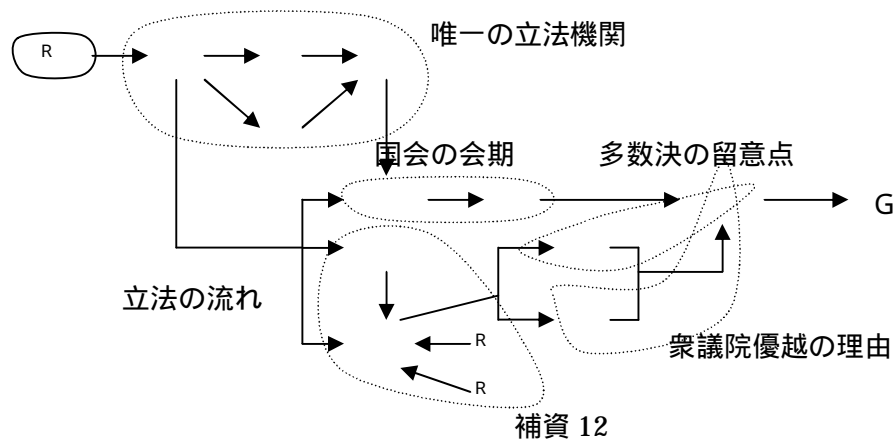
R 決定の仕方は、内閣総理大臣の指名の学習をもとに、多数決の原理を用いることを指摘できる。

多数決の原理を用いるとき少数意見を大切にしなければならないことを説明できる。

R 両院での議決が違った場合、内閣総理大臣の指名の学習をもとに、衆議院の優越を用いることを指摘できる。

衆議院の優越を用いる理由を説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 国を動かすルールについて考える<sup>R</sup></p> <p>2 課題把握 法律はどこでどのようにして作られるか調べよう</p>		<p>社会の秩序を保つためにルールが必要であることを思い出させる。</p> <p>学習シート</p> <p>これから学習することをつかませシートに書かせる。 学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>
	<p>&lt;展開&gt;</p> <p>3 調査1 国会が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であるという意味を考える</p> <p>[評価1] 法律作成における国会の役割を説明できたか 国民の代表、唯一の立法機関</p> <p>4 調査2 どのようにして法律が作られるか確かめる ・時期・期間</p> <p>[評価2] 国会の会期が言えたか 常会150日、臨時会、特別会は話し合い ・作成の流れ</p> <p>[評価3] 法律成立の大まかな流れを説明できたか 案提出、議決の仕方<sup>R R</sup></p>		<p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料で憲法第41条を調べ、それをもとに考えを学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>国民の代表者という国会の立場と唯一法律を作れる機関であることを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>マルチメディア教材で示される資料から国会の種類ごとに調べ、学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>常会、臨時会、特別会それぞれの会期を確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材</p> <p>教材の画面をみながら、法律成立までの流れを確かめる。</p> <p>ホワイトボード</p> <p>法律案の提出、委員会、本会議の大まかな流れを確かめる。</p> <p>学習シート</p> <p>確かめた内容を記入させる。</p>

<p>80分</p>	<p>・ 多数決の原理の留意事項 [評価4] 少数意見の尊重の必要性を言えたか 数の暴力になってはいけない</p> <p>・ 衆議院の優越の必要性 [評価5] 衆議院の優越の理由を説明できたか 解散があり国民の意思をより反映できる</p>		<p>マルチメディア教材 教材の画面をみながら、多数決の原理を用いるときの留意事項を考える。</p> <p>ホワイトボード 少数意見の尊重の必要性を確かめる。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材 教材の画面を参考にして、衆議院が優越される理由を考える。</p> <p>ホワイトボード 国民の意見をより反映でき、重要な議決ができるようにしていることを確かめる。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材 再度、法律成立までの流れをマルチメディア教材で確かめる。</p>
<p>10分</p>	<p>&lt;まとめ&gt; 5 本時のまとめ G 政治を行うには法律や予算が必要。それは、国会で会期中に、多数決の原理用いて決められる。その時、衆議院の優越が認められている。</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（内閣について）</p>		<p>学習シート 今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材 感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

【資料7】 第6次「内閣のはたらき」の学習指導

本時の学習指導（8 / 10）

1 主題 「内閣のはたらきと議院内閣制」

2 指導目標

内閣のはたらき、内閣と国会の関係を資料から読み取らせ、日本は内閣と国会は連帯して責任をもちながら政治を進める議院内閣制であることを理解させる。そして、間接的に国民が内閣を決めていることに気づかせ、選挙を大切にする気持ちを高める。

3 目標行動（Gとする）

政治を行う内閣は、国会で指名された内閣総理大臣によって作られ、衆議院が解散し総選挙が行われれば内閣は総辞職し、民意を反映した新しい内閣が作られる議院内閣制のしくみを採用していて、国民が間接的に決めているということを説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

R 成立した法律案のほとんどは内閣が提出したものであることを思い出して言える。  
内閣は、内閣総理大臣とその他の国务大臣で構成されていることを説明できる。

R 内閣総理大臣は国会議員でなければならないことを思い出して言える。

国务大臣は内閣総理大臣によって任免されることを説明できる。

国务大臣の過半数は国会議員でなければならないことを説明できる。

内閣も間接的に国民が選んでいることを指摘できる。

内閣は行政権をもっていることを説明できる。

行政の意味を言える

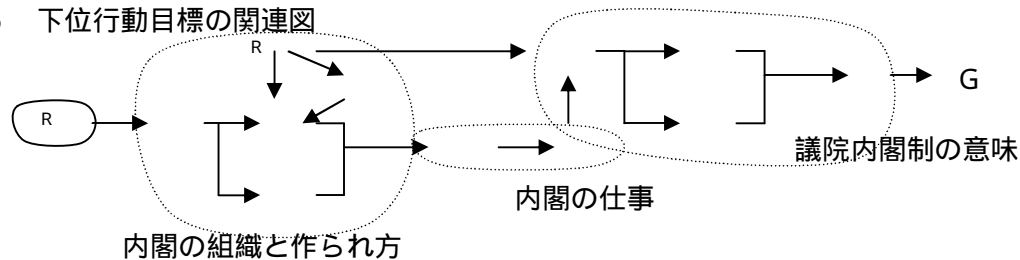
国会と内閣の関係を資料をもとに図にまとめることができる（総理指名、衆議院解散、国政調査、内閣不信任決議）

国会で内閣不信任案が可決又は信任案が否決されると内閣は衆議院を解散しない限り総辞職しなければならないことを説明できる。

衆議院を解散しても、内閣は最終的に総辞職することを説明できる。

日本では、主権者である国民の意思を代表する国会の信任に基づいて内閣が作られ、内閣は国会に対して連帯して責任を負う議院内閣制のしくみが用いられていることを説明できる。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
10分	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 法律案提出について思い出す R</p> <p>2 課題把握 内閣とは何でどんな働きをしているのか調べよう</p>	<p>はじめ</p> <p>教材で補足</p> <p>レディネス調査</p> <p>YES</p> <p>プレテスト</p> <p>NO</p> <p>主題の提示</p>	<p>ほとんどの法律案の提出をしていたのが内閣であることを思い出させる。</p> <p>学習シート</p> <p>これから学習することをつかませシートに書かせる。</p> <p>学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>

<p>30分</p>	<p>&lt;展開&gt;</p> <p>3 調査1 内閣の構成とどのように組織されるかについて調べる R</p> <p>[評価1] 内閣の組織と作られ方が説明できたか 総理大臣と国務大臣</p> <p>4 調査2 内閣の仕事を調べる</p> <p>[評価2] 内閣の仕事が言えたか 行政権</p> <p>5 作業と調査 国会と内閣の関係を図にし、関係をまとめる</p> <p>[評価3] 議院内閣制の意味を説明できたか 連帯して責任を持つ</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料を調べ、それをもとに学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード 内閣総理大臣と国務大臣で構成され、国務大臣は総理が任免することを確認する。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料から内閣の権力、主な仕事を調べ学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード 行政権があり、法律、予算を実行に移すことを確認する。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材 教材の画面をみながら、国会と内閣の関係を確かめる。</p> <p>ホワイトボード 議院内閣制の意味を確認する。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p>
<p>10分</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>5 本時のまとめ G 内閣は内閣総理大臣とその他の国務大臣で構成され、行政権を持つ。国会と連帯して責任を持ち、これを議院内閣制という</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告（三権分立について）</p>		<p>学習シート 今日の課題の答えを確認しながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材 感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>



【資料8】 第7次「司法権と三権分立の意義」の学習指導

本時の学習指導（9 / 10）

1 主題 「司法権と三権分立の意義」

2 指導目標

日本は内閣と国会と司法権を持つ裁判所で権力を分立していることを資料から読み取らせ、濫用されるのを防ぎ、国民の意思を反映した政治が保たれるようになっていることを理解させる。そして、自分たちの権利を守るために政治に参加しようとする態度を育てる。

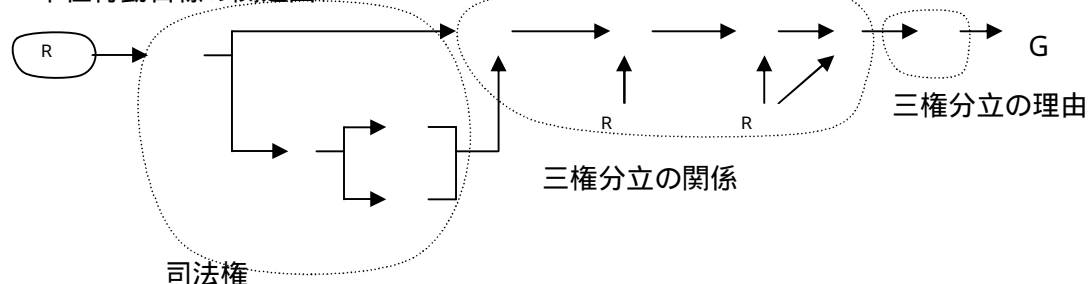
3 目標行動（Gとする）

日本は内閣と国会と司法権を持つ裁判所で権力を分立していることを図示し、それをもとに三権分離によって権力が濫用されるのを防ぎ、国民の意思を反映した政治が保たれるようになっているということを説明できる。

4 下位行動目標とその関連（R はレディネスとする）

- R 権利が侵された場合、保障される権利があることを思い出して言える。  
資料を見ながら、立法、行政の他に司法が国の権力として必要だと指摘できる。  
司法権は、裁判所が持っていることを言える。  
裁判所には、最高裁判所と下級裁判所があることを言える。  
裁判は、三審制のしくみがとられていることを説明できる。  
司法権は、権利を侵されたときそれを補償したり、犯したものを罰したりする権力であることを言える。  
違憲立法審査権という、憲法に違反した法律が作られたときそれを取り消させる権力が裁判所にあることを説明できる。
- R 権力の分立をはじめに考えた人物がモンテスキューである思い出して言える。
- R 国会と内閣の関係を思い出して言える。  
国の権力を立法、行政、司法の三つに分けていて、それぞれ国会、内閣、裁判所がもっていて、三権分立ということを説明できる。  
三権の関係を資料を参考にして図示できる。  
権力の濫用を防ぎ、国民の権利を守るという権力を分けている理由を考えて言える。

5 下位行動目標の関連図



6 本時の展開過程

時間	主な学習内容	展開の流れ	教材・教具と留意事項
	<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 権利の保障を思い出し司法権の必要性をとらえる R</p> <p>2 裁判所が司法権をもっていることを確かめる</p>		<p>権利の保障について、人権の学習を思い出させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート</p> <p>国の権力に司法権が必要なことと意味を、マルチメディア教材の資料からとらえる。</p>

<p>20分</p>	<p>[評価1]</p> <p>司法権の意味とそれをもつ場所を言えたか 権利を保障する権力、裁判所</p> <p>3 三権分立という語句の確認 R</p> <p>4 課題把握 なぜ権力を分けるのか考えよう</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材の資料から、司法権を持っているのが裁判所だととらえる。</p> <p>マルチメディア教材 三権分立という語句を確かめ、モンテスキューについても確認する。</p> <p>学習シート これから学習することをつかませシートに書かせる。 学習課題についての予想をたてさせ、シートに書かせる。</p>
<p>20分</p>	<p>&lt;展開&gt;</p> <p>3 作業 三権の関係を図に書く R</p> <p>[評価2] 三権の関係を図示できたか。</p> <p>4 調査 なぜ、権力を分立しているのか考える</p> <p>[評価3] 三権分立の理由が言えたか 権力の濫用を防ぎ、人権を守るため</p>		<p>マルチメディア教材・学習シート マルチメディア教材で示される資料とこれまでの学習をもとにシートに書かせる。</p> <p>マルチメディア教材 1つ1つの関係を正しく書けているか教材で示しながら確かめる。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p> <p>マルチメディア教材・学習シート 前の図と資料から三権分立の理由を考え、学習シートに書かせる。</p> <p>ホワイトボード 権力の濫用を防ぎ、国民の権利を守り、意思が国政に反映されるようになっていることを確かめる。</p> <p>学習シート 確かめた内容を記入させる。</p>
<p>10分</p>	<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>5 本時のまとめ G</p> <p>6 学習の感想と自己評価と次時の予告(裁判のしくみについて)</p>		<p>学習シート 今日の課題の答えを確かめながら学習内容をまとめて書かせる。</p> <p>マルチメディア教材 感想・自己評価を記入させ送信させる。</p>

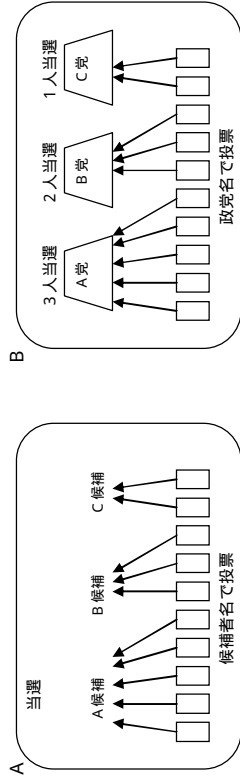
「民主政治と政治参加」 事前・事後テスト

3年 組 番氏名

1 現在の日本の議会は、国民全員が参加するのではなく、代表者が参加し意思を決定します。このようなやり方を何といますか。ことばで書きなさい。

2 日本の議会は、衆議院と参議院の二院制をとっています。二院制にしている理由を簡単に説明しなさい。

3 次の図は、日本で行われている衆議院議員選挙のやり方をあらわしたものです。これについて、あとの各問いに答えなさい。



(1) 図のA、Bの選挙のやり方をそれぞれ何といますか。ことばで書きなさい。

A  B

(2) 一つの議院の選挙で、二つの方法を使っているのはなぜですか。[死語 政局]という語句を用いて簡単に説明しなさい。

4 世論を形成し国民の意思を政治に反映させるためには、どのような方法がありますか。主な方法を二つあげ、ことばで書きなさい。


5 政党について、次の各問いに答えなさい。

(1) 民主政治を進める上で、政党が必要なのはなぜですか。簡単に説明しなさい。

(2) 日本のように三つ以上の政党が政権を争うしくみを何といますか。ことばで書きなさい。

(3) 政権を担当している政党のことを何といますか。ことばで書きなさい。

6 次の日本国憲法の条文を見て、あとの各問いに答えなさい。

日本国憲法 第41条 国会は、国権の最高機関であつて、国の唯一の立法機関である。

(1) 国会の重要な仕事であり、国会以外ではできない仕事は何ですか。日本国憲法の条文から読み取って簡単に説明しなさい。

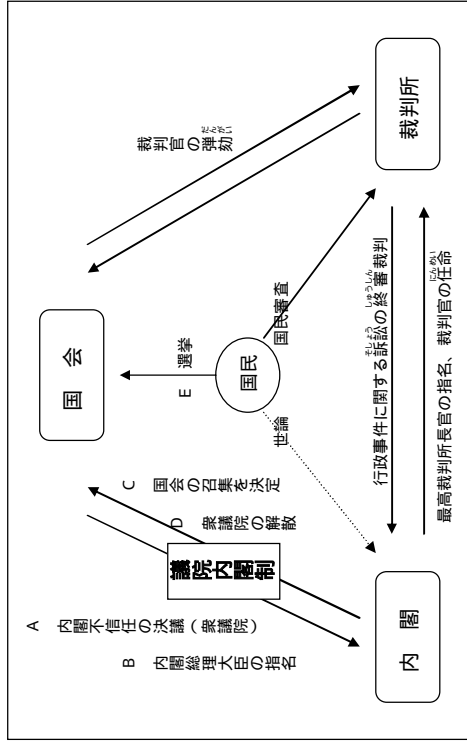
(2) 国会でものごとを決めるときに用いられる方法は何ですか。ことばで書きなさい。

の方法を用いるとき、気をつけなければならないことを、簡単に説明しなさい。

(3) 日本の国会で、衆議院の優越が認められている理由を、簡単に説明しなさい。

(4) 国会で決められたものごとを実行に移す行政の仕事をまとめる役割をする機関は何ですか。ことばで書きなさい。

7 次の図を見て、あとの各問いに答えなさい。



(1) 図中の議院内閣制とは、どのようなしくみですか。図を参考にして、簡単に説明しなさい。

(2) 図中は、つくられた法律が憲法の内容に違反していないかどうかを判断し、違反している場合その法律が無効であることを宣言できる権利をあらわしています。このことを何といますか。ことばで書きなさい。

(3) 図のように、権力をわけるしくみを何といますか。ことばで書きなさい。

(4) 図のように、権力をわけているのはなぜですか。簡単に説明しなさい。

(5) 図のような政治のしくみを大切にしていかなければならない理由について、自分の考えで説明しなさい。

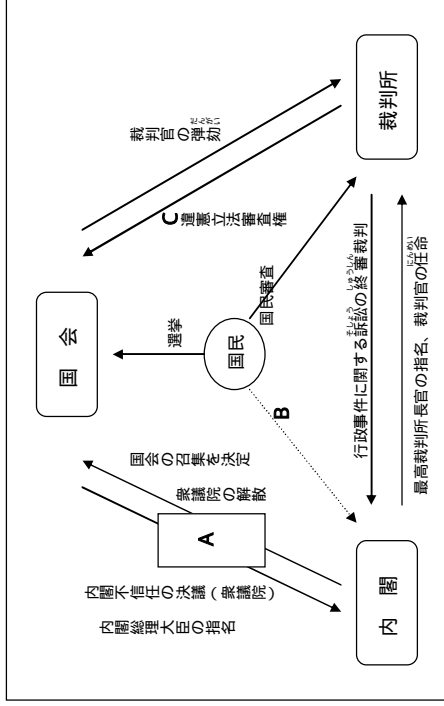
【資料 10】 単元テスト

4 現在の日本の政治について正しく述べたものはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 日本は二党制で、与党は単独政権である。
- イ 日本は多党制で、与党は単独政権である。
- ウ 日本は二党制で、与党は連立政権である。
- エ 日本は多党制で、与党は連立政権である。

< 答え >

5 次の図を見て、あとの各問いに答えなさい。



(1) 図中の「国会」「内閣」「裁判所」がもっている権力として正しいもの組み合わせはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 国会 - 立法権 内閣 - 行政権 裁判所 - 司法権
- イ 国会 - 立法権 内閣 - 司法権 裁判所 - 行政権
- ウ 国会 - 行政権 内閣 - 立法権 裁判所 - 司法権
- エ 国会 - 行政権 内閣 - 司法権 裁判所 - 立法権

< 答え >

(2) 国会のしごとについて次の各問いに答えなさい。

国会でものごとを決めるときは、多数決の原理を用います。このとき気をつけなければならぬこととして、最も適切なものはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 話し合いは、あまり長引かせず、はやく多数決をとること
- イ ある程度は意見を聞いてから、多数決をとること
- ウ 少数意見を大切に、十分に話し合いをしてから多数決をとること
- エ まったく話し合いをせずに、ほとんど多数決をとること

< 答え >

「暮らしとつながる政治」 単元テスト

3年 組 番氏名 \_\_\_\_\_

1 現在の日本の議会は、国民全員が参加するのではなく、代表者が参加し意思を決定します。このよくなやり方を何といいますか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 直接民主制
- イ 絶対王政
- ウ 代議制
- エ 社会民主制

< 答え >

2 日本の議会は二院制をとっています。これについて、次の各問いに答えなさい。

(1) 日本の二院の名称の組み合わせとして、正しいものはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 衆議院と貴族院
- イ 衆議院と貴族院
- ウ 上院と下院

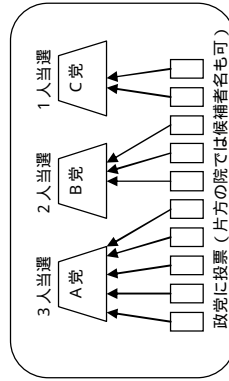
< 答え >

(2) 二院制にしている理由として、もっとも適切なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 慎重に審議し、より国民の意思を反映できるようにするため
- イ 話し合いを長引かせ、あまりたくさんの決定ができないようにするため
- ウ 国民の代表による議会で天皇を補佐するための議会をつくる必要があったため
- エ つくられた当時進んでいたアメリカの制度をまねたため

< 答え >

3 次の図は、日本で行われている選挙で二つの院の両方で行われているやり方をあらわしたものです。これについて、あとの各問いに答えなさい。



< 答え >

(1) 図の選挙のやり方を何といいますか。ことばで書きなさい。

(2) この選挙のやり方のよい点は何か。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 大きな政党に有利で、政局が安定する。
- イ 死傷が少なく、国民の意思が反映されやすい
- ウ 小さな政党に有利で、政権を取れる可能性がある
- エ 選挙区がせまく、資金がほとんどかからない

< 答え >

次の文は、衆議院の優越について説明したものです。( )に入る語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

日本の国会で、衆議院の優越が認められている理由は、重要な決定ができるようにするためにあり、また、衆議院は任期が短く( A )があり、( B )をより反映できる議院だからである。

- ア A - 解散 B - 国民の意思
- イ A - 伝統 B - 国民の意思
- ウ A - 解散 B - 議員の権力
- エ A - 伝統 B - 議員の権力

< 答え >

(3) 図中のAは、国民の意思を代表する国会の権性にもとづいて内閣がつくれ、内閣は国会に対して責任を負うしくみを示しています。このしくみを何といますか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 国会内閣制
- イ 議院内閣制
- ウ 連帯責任制
- エ 内閣議院制

< 答え >

(4) 図のように権力をわけのしくみを何と言いますか。ことばで書きなさい。

< 答え >

(5) 図のように、権力をわけているのはなぜですか。もっとも適切なものを次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 仕事が多いので分担して行うため
- イ 権力が一つのところに集まり、濫用されるのを防ぐため
- ウ 先進国の仲間入りをするため
- エ 権力をまとめて使えるすぐれた指導者がいないため

< 答え >

(6) 図中のBは、主に選挙やマスコミによって示される、政治上の問題に対して多くの人々がいたいしている意見です。これを何と言いますか。ことばで書きなさい。

< 答え >

(7) 図中のCの違憲立法審査権の説明として、もっとも適切なものはどれですか。次のア～エのうちから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 憲法や法律をつくる権利
- イ 憲法の問題点を調べる権利
- ウ 国会議員の裁判をする権利
- エ 法律が憲法に違反していないかを判断し指示する権利

< 答え >

わが国の政治についてのアンケート

3年 組 氏名

「わが国の政治」とは、「日本全体の活動を決めて動かすこと」であり、「それを行うためのしくみ」を含みます。

このアンケートは、みなさんがわが国の政治について、どのように考えているかを知るために行います。テストではありませんので、成績にかかわることは一切ありません。自分の思ったとおりにご返答ください。

次の質問について最も近いと思うものを選んで、記号に をつけてください。  
また、後の□には、質問についてことばで書いてください。

1 あなたは、わが国の政治について調べてみたいと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

それはどうですか。

2 あなたは、わが国の政治について自分の意見を持つことは必要だと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

それはどうですか

3 あなたは、内閣総理大臣や国会議員というわが国の政治にすすめる立場になって、わが国の政治について考えることが大切だと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

それはどうですか。

【資料 11】 「我が国の政治の学習」についての事前・事後調査

4 あなたは、わが国の政治で行われていることと同じようなことが学校生活の中にあると思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

どのようなことがあるか、思い浮かぶことを書いてください。

5 あなたは、わが国の政治についての学習をこれからの生活や将来に生かそうと思いますか。

- ア そう思う
- イ どちらかといえばそう思う
- ウ どちらかといえばそう思わない
- エ そう思わない

どのように生かしたいか、今考えていることを書いてください。

ご協力ありがとうございました。

「民主政治と政治参加」の授業で使ったコンピュータ資料についてのアンケート

3年 組 氏名

このアンケートは、コンピュータの資料が学習に役立つかどうかについて知るために行います。テストではありませんので、成績にかかわることは一切ありません。自分の思ったとおりにお答えください。

次の質問について、最も近いと思うものを一つずつ選んで をつけてください。  
また、□があるものは、質問についての自分の考えを**ことば**で書いてください。

- 1 あなたは、わが国の政治について、コンピュータの資料を使ってもっと調べてみたいと思いませんか。
- ア そう思った
  - イ どちらかといえばそう思った
  - ウ どちらかといえばそう思わなかった
  - エ そう思わなかった

それはどうしてですか。

- 2 あなたは、学習する内容をわかりやすくするのにコンピュータの資料は役立ったと思いますか。
- ア そう思う
  - イ どちらかといえばそう思う
  - ウ どちらかといえばそう思わない
  - エ そう思わない

それはどうしてですか。

- 3 あなたは、内閣総理大臣の立場になってわが国の政治のしくみを学習するのに、コンピュータの資料は役立ったと思いますか。
- ア そう思う
  - イ どちらかといえばそう思う
  - ウ どちらかといえばそう思わない
  - エ そう思わない

- 4 あなたは、有権者の立場になってわが国の政治を学習するのに、コンピュータの資料は役立ったと思いますか。
- ア そう思う
  - イ どちらかといえばそう思う
  - ウ どちらかといえばそう思わない
  - エ そう思わない

- 5 あなたは、わが国の政治で行われていることと同じようなことが学校生活の中にあることを知ると、コンピュータの資料が役立ったと思いますか。
- ア そう思う
  - イ どちらかといえばそう思う
  - ウ どちらかといえばそう思わない
  - エ そう思わない

次のことについて、思ったことを書いてください。

コンピュータの資料のよかったことは何ですか。

ご協力ありがとうございました。



【資料 13】 著作権関係一覧表

連絡先	連絡方法	送信日	返信者	返信日	対象著作物	結果		参考:返信文等
						教材使用	CD配布	
共産党	Webページ上のメールアドレスへ送信 <info@cp.or.jp>	2004/8/6 14:55	日本共産党中央委員会 会宣伝局	2004/8/9 13:53	党首写真 ロゴ Webへのリンク			丁寧なご連絡ありがとうございます。お返事が遅れて申し訳ありません。お問い合わせの件ですが、次のように取り計らっていただければ幸いです。 1 研究発表および授業でご利用いただくことは、問題ありません。 2 教育研究発表会での複製の配布はそのままお配り頂いてかまいません。 3 ホームページへのリンクは、自由にできますが、http://www.jp.or.jp/以外のページは、予告なくURLを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。 「民主政治と政治参加」の学習に用いるマルチメディア教材に使用されるためのリンクや写真の転載の件、承知いたしました。 公明党サイトから転載された画像、テキストなどにそれぞれ「公明党ホームページ」から転載、等のクレジットを入れていただければ、問題ありません。 ～中略～ CDの配布につきましては、基本的に営利目的でなければ問題ありませんが、そのCDからの流用、つまり二次利用等にはご留意ください。すなわち、CDはあくまでも研究のための教材を個人的に作成したものであり、配布する旨、あくまで研究のための参考資料・・・などの趣旨を周知・徹底した上で、配布なら、問題ないと思存します。
公明党	Webページ上のメールアドレスから送信 フォームから送信	2004/8/6	公明党 広報委員会	2004/8/9 9:50	党首写真 ロゴ Webへのリンク		(条件 付き)	
政 党 関 係 自 民 党	Webページ上のフォーム 自動返信される ldpmag@mail.jimin.jpへ メールで送信(自民党 news/バックに書かれてい るメールアドレス)	2004/8/6 2004/8/11 2004/8/20	自由民主党 広報部 マルチメディア局	2004/8/20 10:04	党首写真 河野洋平、扇千 景、安部晋三 写 真 ロゴ Webへのリンク			自民党へのメールをありがとうございます。～略～ 「ジンのシンボルマーク」選挙結果と幹事長メッセージへのリンク 政策のページへのリンク については、どうぞご利用ください。 自民党HPに掲載している以下の写真について、授業と教育研究発表会に 使用されるということで許可を得ましたのでご連絡させていただきます。(CD配 布も了承です) (幹事長メッセージ) 小泉純一郎・河野洋平・扇 千景
社 民 党	Webページ上のメールアドレスへ送信 <kouho@sdp.or.jp>	2004/8/6 14:45	社会民主党全国連合 企画委員会	2004/8/6 15:21	党首写真 ロゴ Webへのリンク			福岡党首の写真についてですが、ご使用いただいで結構です。 どうぞ、よろしくお願いたします。
民 主 党	Webページ上のメールアドレスへ送信 <info@dpi.or.jp>	2004/8/6 15:04	民主党国民運動委員 会	2004/8/9 12:40	党首写真 ロゴ Webへのリンク		(条件 付き)	民主党ホームページに掲載されているご指定の文章、画像を、(1)中学校の授 業(2)教育研究発表会での発表(3)教育研究発表会で配布するCD・ROM への収録 という形でご利用いただくことについて、了解いたしました。 たし、ご利用の際に、以下の点にご留意願います。 1) CD-ROMへの収録の際に、「資料提供 民主党」というクレジットがどこか に表示されるようにして下さい。 2) 党のロゴにつきましても、色・デザインを変更しない形でご利用願います。 3) ウェブページへのリンクにつきましては、URLが変更する場合がありますので 、ご注意ください。また、記者会見などのビデオクリップにつきましては、配信 期間が2ヶ月となっております。ご了承ください。 本日(8月6日)官邸HPを通じて送信された標記のご連絡のことでご連絡いたしました。 いただいたメールアドレスを踏まえていただき、許可することとしました。ただ、こちらに 添付ファイルをご説明いたします。 この添付ファイルは、当内閣広報室が所有する写真を当室以外が使用する場 合の内部規則です。 1ページ目とその規則で、2ページ目と3ページ目は申請様式です。 2ページ目と3ページ目の違いは、2ページ目が国の機関が使用する場合は様 式で、3ページ目が国以外の機関が使用する場合は、(違いは、右上 の「肩書き」の表示だけです。) このことで、今回提出していただく様式は、3ページ目のものになります。 必要事項を記入していただき、メールで返信してください。内容を確認した上 で、あらためて「使用許可」をいたします。 また、使用にあたってですが、本来は電子データで提供していただきますが、今回 に限って、官邸HPの写真をダウンロードしてお使いいただけます。 (若手県と東京という物理的な距離を考慮して)～以下、略(使用写真について 電話確認)
官 公 所 等	Webページ上のメールアドレス<kanteihp- info@cas.go.jp> 指定様式での申請書 (メールにて貼付予定だっ たが、代表者印が必要な ため郵送) 使用写真確認電話	2004/8/6 15:57	内閣官房内閣広報室	2004/8/6 20:31	現在の内閣の集 合写真 閣議の様子 の写 真 日米首脳会談の 写真 北朝鮮訪問の写 真 ホームの官邸の写 真		申請書 有 申請書 有	

	連絡先	連絡方法	送信日	返信者	返信日	対象著作物	結果		参考・返信文等
							教材使用	CD配布	
官公所等	衆議院	Webページ上のメールアドレス <webmaster@shugin.go.jp>	2004/8/6 16:02	衆議院事務局庶務部 文書課	2004/8/10 10:01	国会議事堂の写真 ビデオライブラリへのリンク			お尋ねの件は、差し支えありません。 ホームページの内容の私的利用又は引用、学校の授業で使用するための複製などは、出典を明示していただくようお願いいたします。なお、目的以外に利用しないでください。また、無断転載を禁ずる旨の注記があるものについては、それに従ってください。また、ホームページの内容の全部又は一部について、衆議院に無断で改変を行うことはできません。 電話で承諾を受ける
	裁判所	メールでの問い合わせ不可 電話のみ03-3264-8111	2004/8/6 メール	最高裁判所広報課 広報係	2004/8/13 電話	最高裁長官写真 最高裁写真 大法院写真			授業、研究発表のときだけ使用するのにはOK 他者に配布はダメ。(別な申請が必要) 電波はIBCを通じて受け取っているため、IBCの許可も必要とのこと。
	TBS	Webページ上のメールアドレスへ送信 <opinion@best.tbs.co.jp>	2004/8/6 15:11	電話での応答	2004/8/12 14:22	今年の参議院議員選挙(7月11日)の投票の様子を写したTBSの倉庫のニュース(自分で録画したもの)を編集			
	IBC	Webページ上のメールアドレス <webmaster@ibc.co.jp>	2004/8/12 14:31	IBC岩手放送報道部	2004/8/12 15:24	同上			いつもIBCのテレビ&ラジオをご視聴いただき、誠にありがとうございます。 さて、メールでご依頼のありましたニュース映像の使用ですが、弊社といたしましても、授業および岩手県教育研究発表会(2月)での提示に限ったの使用というところであれば、差し支えないと考えています。 以上、よろしくお願いたします。
報道関係	時事通信社	Webページ上のメールアドレス <webmaster@jiji.com>	2004/8/6 15:54	PANA通信社営業部	2004/8/20 18:09 その後2回	写真 記事	記事 写真 x	記事 写真 x	写真は1枚につき、インターネット掲載は1ヶ月間まで)でご利用いただけます。 は、1点 25,000円(税別)、CDでのご利用の場合は、1点 30,000円(税別)のご使用料をいただいております。ご検討のほど、よろしくお願いたします。 再度確認 記事につきましては、ニュース配信元の時事通信社より今回のようなケースでしたらご利用いただいて結構ですとの使用許可ができました。ぜひ、ご利用下さい。写真につきましては、著作権保護の為、無料でのお貸出しはできないということになりました。せつかくお申込みいただきましたのに、ご希望にお応えすることができず申し訳ありません。あしからずご了承のほどお願いたします。
	岩手日報	Webページ上のメールアドレス <center@iwate-np.co.jp> 指定様式での申請書 (メールで返送)	2004/8/6 15:16	岩手日報社編集局 読者センター	2004/8/6 17:58	「県内の政党支持率」グラフ 「期日前投票」の記事	申請書 有		お尋ねの件にお答えします。 HPからの2次利用については、原則としてご連絡をお願いしていますが、齊藤様のように「教育」の一環としての利用については、「特別」として許可しております。これは弊社をはじめ新聞協会加盟各社が展開している「NIE(教育に新聞)を活動の一環としてとらえているためです。ただし、2次利用については事前の申請、許可が必要です。メールに申請書のファイルを添付いたしますので、この記入のうえ、送信してください。利用料金は無料です。 教材をCDに焼いて配布する件についても上記の理由で問題ありません。ただし、いずれの場合でも、利用資料には、例えば「岩手日報HPから転載」と表示してください。以上よろしくお願いたします。 サポートセンターのため、毎日新聞社に直接連絡ではない。担当者に連絡する という返信だったが、そのご連絡なし 新聞記事(論説等)でなければ、基本的に著作物ではなく、教育上使用するの ては社説は必要ない。
	毎日新聞社	メールで問い合わせ (MSN.co.jp Support)							
選挙関係	選挙サイト election	Webページ上のメールアドレス フォーム(ただし、次のアドレスでも) <info@election.co.jp>	2004/8/6	選挙情報サイト election.co.jp	2004/8/6 15:50	2003年11月9日 衆議院議員選挙 のおもしろデータ			下記の件ですが、まったく問題ありませんので、ご自由にご利用ください。また、もし、CDができた際に、一枚分けていただければ、幸いに思います。子供が、選挙とは何かを少しでも考える時間が増えればと思います。 では、今後ともよろしくお願いたします。
選挙関係	明るい選挙推進協会	Webページ上のメールアドレス <akaruisenkyo@mua.biglobe.ne.jp>	2004/8/6 16:04	財団法人 明るい選挙推進協会	2004/8/20 20:32	衆議院議員選挙投票率の推移 データ 参議院議員選挙投票率の推移 データ 選挙に行かないの理由 データ	出典		当協会といたしましては、基本的に出典を明らかにしていただければご利用いただけます。但し、投票率の推移については事実をグラフ化しただけに過ぎませんので、当協会が出典元というわけではございません。 総務省の許可が必要か 回答が速くなりまして申し訳ございません。特に総務省の許可を得る必要はありませんし、出典元を明らかにしていただければ結構ですので、その旨よろしくお願いたします。
他	I.P.A					戦後の選挙VTR			教育関係での利用は、許可不要

## 【資料 14】 コンピュータ教材の説明

### 1 教材に梱包されている Read Me より

**【重要】** 教材中の写真、VTR、リンク等は著作権者の許諾を得て使用しています。

あくまでも研究のための教材を個人的に作成したものであり、営利を目的とするものではなく、教育に役立てるためのものです。配布する目途も、あくまで研究のための参考資料です。この資料を教育上必要とする非営利目的の用途で使用し、著作権者の権利を侵害しないようお願いいたします。

- ・この教材は、ホームページビルダーver.8 で作成しました。
- ・インターネットブラウザがあれば見ることができると思います。  
なお、Windows XP SP2 をご使用の場合、アクティブコンテンツの使用許可を毎回求められます。インターネットエクスプローラーの「ツール」「インターネットオプション」「詳細設定」「セキュリティ」「マイコンピュータのファイルでのアクティブコンテンツの実行を許可する」にチェックを入れると、スムーズに使用できます。
- ・我が国の政治の学習に必要な資料をひとつおき準備しています。
- ・各学習内容のスタート画面(open0.htm)から始めると今回の授業の流れのとおり学習の進め方を制御できます。その際の各ステップのパスワードは次のように設定されています。(index.htm から)

step 2 (giin)	このページで二院制の理由に行くパスワード (niinriyu)
3 (senkyo)	
4 (sourisimei)	
5 (seito)	このページで各政党の政策とのリンクに行くパスワード (seisaku) このページで自民・民主のコメントに行くパスワード (hatten)
6 (seron)	
7 (houritu)	このページで衆議院の優越の理由に行くパスワード (yuetu)
8 (naikaku)	このページで議院内閣制の説明に行くパスワード (rentaiseikinin)
9 (kenryoku)	このページで三権分立の理由に行くパスワード (kokuminkenri)

なお、パスワードは必要に応じて、削除したり変更したりしてご活用ください。

パソコン教室のサーバに保存し、生徒機から「index.htm」にリンクさせてショートカットを作って生徒にそこからスタートさせると、今回紹介した流れで授業ができます。

- ・1つ1つの資料を単独で使うこともできます。フォルダから直接そのページを開いてください。
- ・教材の中の青丸で中に「click」と書かれたところをクリックすると、そのページの中で解答が出てきます。赤いハートで中に「check」と書かれたところをクリックすると、新しいページが開かれます。教材内で、統一されている事項なので、使用するはじめに生徒に確認してください。
- ・「今日の感想」のページ、「学習の確認」のページは、本来であれば、送信ボタンを押すとメールで送信するように設定します。配布資料では、メールアドレスを削除してあります。使用の際は、メールアドレスを設定してください。
- ・この教材を使用したことにより、コンピュータに不具合が生じても、責任を負いかねますのでご了承ください。

## 2 教材の紹介

ここでは、今回の授業で行った方法を紹介します。

先に述べているように、この使用法にこだわらず、各教材を必要なときに必要な部分だけ使用可能である。また、Webページの作り方がわかる場合は、自分の授業構想に合わせて、改編して使用できる。

### (1) 教材の準備

コンピュータ室のLANを活用した。

サーバに教材をコピーする。

生徒機に、教材へのリンクをはる。

以下の要領で右のようにできる。

- ・フォルダ「政治学習」をデスクトップに作成
- ・(右クリック 新規作成) ショートカット作成
- ・参照先を指定 完了



授業の最初に、生徒にこのフォルダ ファイルを開くように指示すれば2時間目からは、生徒自身で開く。なお、「open0」は、1時間目だけしか使わないので、2時間目以降はフォルダから削除した。


不具合が生じたときのために、教材をCDに焼いた物とそこへリンクするショートカットも作成した。

### (2) 単元のスタート (open0)

単元のスタートの課題作りのために、1時間目だけ以下のスライドを使った。青のところをクリックすると次の画面に移動し、の青をクリックすると各学習内容のスタート画面に移動する。生徒にまで自分で見させ、学習課題を確認して、学習シートに記入させた。


学校を動かしているのは  
生徒のみなさんですね。

そのリーダーは、生徒会  
長を中心とした執行部と  
委員長さんたちですね。

 ←ここをクリックしてください


今の日本の政治のリーダーといえは？

この人の役職は？



内閣総理大臣

では、この人にかわって  
あなたは日本の政治のリーダーになれますか？


 ←ここをクリックしてください

あと、たった5年でみなさんも、有権者です。政治のことを考え始めましょう。

もし、あなたが内閣総理大臣になって、この国を動かすとしたら、どんなことをしますか？

…と、その前に、


どうしたら内閣総理大臣になれるのでしょうか？  
今すぐ、あなたは内閣総理大臣になれますか？

 ←ここをクリックしてください

まずは、内閣総理大臣になるための条件(じょうけん)を調べることから始めよう！

**学習課題** 内閣総理大臣になるための条件を調べよう！

**予想** 君の予想を学習シートに書こう

 学習シートに書き終わったら  
←ここをクリックしてください

(3) 各学習内容の画面

ア 各学習時間のスタート画面

(2)の の青 をクリックしたとき又は(1)の「index.htm へのショートカット」をクリックしたとき、下の画面に移動する(もちろん、教材のフォルダ内の「index.htm」から行ける)。

## 我が国の政治について調べよう

ステップ1 内閣総理大臣になる条件

ステップ2 日本の国会は……

ステップ3 国会議員になるには

ステップ4 国会議員であれはいいのか

ステップ5 一人の力で大丈夫?

ステップ6 国民の声は……

ステップ7 法律はどうやってつくる?

ステップ8 法律を実行する

ステップ9 憲法、人権を守る  
権力は3つに分かれる

今日の感想

授業の最後は必ずここに!

学習の確認

学習内容を小テストで確認

各 step のところをクリックすると、それぞれの時間の教材画面に移動する。Step 2 からは、前述のパスワードが必要である。

授業の最後に、自己評価と感想を書く画面に移動する。

今回の実践の反省にもとづいて付け加えたものである。簡単なドリルで復習できる画面に移動する。

各ステップ画面は、以下の学習内容で使用する。

時間	1		2		3、4		5		6、7		8		9、10	
教材	Step1	Step2	Step3	Step4	Step5	Step6	Step7	Step8	Step8	Step8	Step9	Step9	Step9	Step9
学習内容の流れ	総理大臣になる条件	一院制のしくみと理由	選挙の意義としくみ	総理大臣の指名方法	政党の意義と役割	世論のはたらき	国会のはたらき	内閣のはたらき	内閣のはたらき	内閣のはたらき	裁判所のはたらき	裁判所のはたらき	三権分立の意義	三権分立の意義



イ 各ステップの画面

(ア) step1 (パスワード不要)

内閣総理大臣になる条件  
を日本国憲法の条文から、  
探させる資料

**内閣総理大臣になる条件** 閉じる

日本国憲法 第67条  
【内閣総理大臣の指名、衆議院の優越】

Click ここから考えよう  
クリック!

① 内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の議決  
で、これを指名する。この指名は、他のすべての案件  
に先だつて、これを行ふ。


② 衆議院と参議院が異なつた指名の議決をした場合  
に、法律の定めるところにより、両議院の協議会を開

(イ) step2 (パスワード gi in)

国会が二院制であること  
衆議院と参議院があり構成  
に違いがあることを確かめ  
させる資料

二院制にしている理由を考え  
させ、発表しあつた後、下の  
画面を見ながら (パスワード  
「niinriyu」が必要) 確認す  
る。

**日本の国会は1つ?** 閉じる



向かって左は? Click 衆議院  
向かって右は? Click 参議院

どんな違いがある?

議員数	480名 小選挙区300名 比例代表180名	議員数	242名 選挙区146名 比例代表96名
被選挙権	満25歳以上	被選挙権	満30歳以上
選挙権	満20歳以上	選挙権	満20歳以上
任期		任期	6年 3年ごと半数改選
その他		その他	衆議院解散中の 緊急集会 ※後で学習します

Click 二院制  
二院制にしているのか 考えよう

まとめのときに、パスワードを教えます。そのとき、右をクリックします。

**二院制** にしている理由 閉じる

- 議会の決定を慎重にするため
- できるだけ、さまざまな国民の意見を政治に反映するため
- 衆議院が解散しているとき、緊急の問題が生じた場合に話し合いができるようにする



(ウ) step3 (パスワード senkyo)

選挙の意義、しくみについて調べさせる資料

画面は発表資料参照

(I) step4 (パスワード sourisimei)

内閣総理大臣指名の流れをスライドショーで説明する資料

# 内閣総理大臣の指名

右下の「スライドショー」をクリックしてみましょう。  
 または 1つ1つ確かめたいときは、左のスライド(番号)を1枚ずつクリックしてみましょう。

このページは、スライドショーが始まると、5秒後に自動的に次に移動します。  
 以後は **クリック** の表示が出たらクリックしてください。

## 内閣総理大臣の指名

総理が何らかの理由で欠けたとき、内閣が総辞職したとき、国会で行う、**議院内閣制**

各議院で、国会議員のなかで内閣総理大臣になってほしい人に投票する。  
 つまり た ず け び り

### 多数決の原理

たくさん票を入れてもらうとされる！  
 じゃあ、どのくらいの票が入れればいい？

**クリック**

## 内閣総理大臣の指名

### どちらの院の場合も

例えば総投票数400票として

A氏	投票	201票
B氏	投票	120票
C氏	投票	79票

過半数なのでA氏に決定！

**クリック**

## 内閣総理大臣の指名

### どちらの院の場合も

ところが 例えば投票数400票として

A氏	投票	170票
B氏	投票	150票
C氏	投票	80票

過半数得票者がいない **上位2名で決戦投票**

過半数がポイント！

## 内閣総理大臣の指名

### どちらの院の場合も

#### 上位2名で決戦投票の結果

例えば投票数400票として

A氏	投票	210票
B氏	投票	190票

得票数が多いA氏に決定！

**クリック**

## 内閣総理大臣の指名

ならば **内閣総理大臣決定!**

天皇が任命

**クリック**

## 内閣総理大臣の指名

しかし

違っていたら?!

**衆議院の優越**

つまり... **クリック**

## 内閣総理大臣の指名

### 衆議院の優越

こうなる

両院協議会で意見が一致しない

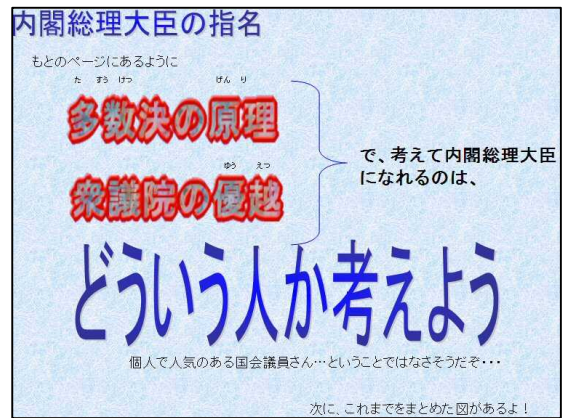
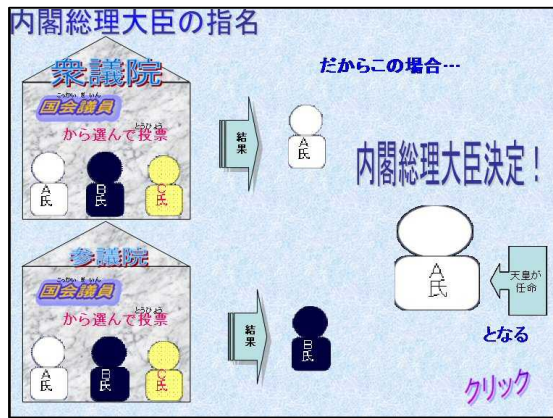
衆議院の議決が国会の議決

または

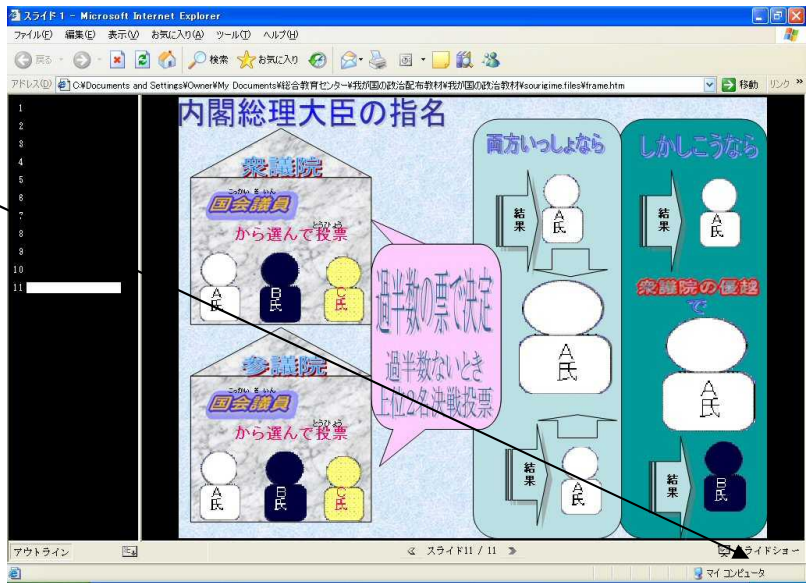
衆議院の可決後、10日以内に参議院が議決しない

**クリック**



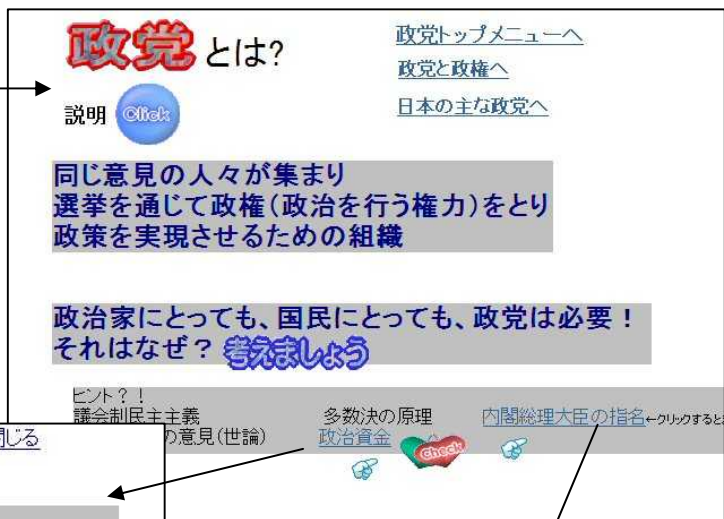


スライドショーを実行しても見られるし、一枚一枚見たい画面を指定して見ること



(オ) step5 (パスワード sei to)

政党の意義と日本の政党について調べさせる資料



政治資金

政治活動をするために必要なお金のこと  
選挙などにはお金がかかる。それを個人で準備するのはたいへんなので、そのためにも政党は役立つ。  
そのお金を不正に集めないように、政治献金に規制をかけたたり、国の費用から政党へ公的助成として資金をまかなっている。

復習したい生徒は、もう一度、(I)のスライドショーを見ることができる。



**政党** 閉じる

政党とは何？

政党と政権

日本の主な政党

**政党と政権** 政党トップメニューへ  
政党って何へ  
日本の主な政党へ

政党は1つでいいか？  
国民の意見は1つ？  
→普通はNO！だから、世界では多くが下のどちらかになっている

主に、2つの政党で政権を争うしくみ **二党制**

3つ以上の政党で政権を争うしくみ **多党制**

アメリカ、イギリスなどは二党制。ドイツ、フランスなどは多党制。  
日本は？

その中で  
選挙の結果、多数をとった政党が政権（政治を行う権力）をもつ

※権力とは、決められたことには従わせるように強制する力

政権を担当している政党 **与党**

**日本の主な政党** 政党メニューへ  
政党って何へ  
政党と政権へ

だれかわからないとき →

だれ？ だれ？ だれ？ だれ？ だれ？

代表 神崎 武法  
かんさき たけり  
衆議院議員  
比例九州

総裁 小泉 純一郎  
こいずみ じゅんいちろう  
衆議院議員  
神奈川県11区

代表 岡田 克也  
おかた かつや  
衆議院議員  
三重県3区

党幹部会委員長 志位 和夫  
しい かずお  
衆議院議員  
比例南関東

党首 福島 瑞穂  
ふくしま みずほ  
参議院議員  
比例区

政党名がわからないとき →

公明党 公明党  
自民党 自民党  
民主党 民主党  
日本共産党 日本共産党  
社民党 社民党

ロゴと写真: 公明党、自民党、民主党、日本共産党、社民党、各HPより提供

画面を下にスクロールしていくと、各政党のWebサイトへのリンクがはってある。発展学習と考えパスワード (seisaku) を入力しなければリンク先に行けない。

(か) step6 (パスワード seron)

政治における世論形成の意義と重要性について調べさせる資料

**世論** 閉じる

世論とは何？

選挙の投票率

マスコミとは何？

**世論とは何？** 世論トップページへ  
選挙の投票率へ  
マスコミとは何へ

世論とは？ 政治上的の問題に対して多くの人がいだいている意見のこと  
=政治家が最も大切にしなくてはならないこと

では、世論はどうすればわかるの？

最も重要な形は……代議制なんだから…  
せんぎょ

ところがなんと？！

現在の状況は？ → 選挙の投票率へ

2004.7.11参議院議員選挙結果を見てのいくつかの政党の反応

**2004.7.11参議院議員選挙結果を見てのいくつかの政党の反応** 閉じる

第20回参議院選挙結果について(自由民主党幹事長談話:自由民主党HPより)

本日、参議院選挙において国民の皆様が示されました。激しい選挙戦の結果、自民党・公明党は、与党として参議院における全ての委員会で過半数を占める安定多数を確保しました。

与党の安定多数の確保は、3年間の小泉改革の実績が一定の評価を受けたものであり、同時に、構造改革をさらに加速し本格的な景気回復の実現を求められたものです。

一方、国民の皆様が党に対する批判は謙虚に受け止め、今後とも年金改革、イラク支援等について十分な説明努力を払いつつ、わが党の政策には確固たる自信をもち、確立を確し公明党との協力を一層密にしながら、国政の責任を果敢に果たしていく意です。

～省略～

発展: 選挙結果 安部幹事長メッセージVTR

※現在、武部幹事長メッセージに変わっています

第20回参議院選挙結果を受けて(民主党声明:民主党HPより)

有権者の皆さまの審判は下りました。国民は自らの手に政治を取り戻すために立ち上がり、第20回参議院選挙において、自民党ではなくわが民主党に第一党の座を与えて下さいました。これにより、自公政権が誕生するまで国民の手に政治が戻ります。

2004年7月11日の参議院選後の政党の反応を見られる。Webサイト(パスワード hatten)にリンクをはっていて、選挙結果、代表の発言がみられる。(現在はVTRがなくなっていたりかわっている)

せろん(よろん)  
**世論** 閉じる

**世論とは何?**

**選挙の投票率**  
「世論とは何?」から行けます。

**マスコミとは何?**  
「世論とは何?」から行けます。

**マスコミとは何?** 世論トップページへ  
世論とは何のページへ  
選挙の投票率へ

**マスコミ** 説明  
Citeck

マスコミ = マス・コミュニケーション  
マス(mass) = 大衆、群衆、多数  
コミュニケーション(communication) = 人間が互いに意思を伝達すること

**情報** 一度に  
たくさんの情報を  
たくさんの人に  
伝達すること

**マスメディア**

せん きょ とう ひょう りつ  
**選挙の投票率** 世論トップページへ  
世論とは何のページへ  
マスコミとは何のページへ

しゅげん こし  
私たちは、主権を行使しているだろうか?  
本当に国民が選んだ人が政治を行っているだろうか?  
**こんなことを思いませんか!**

しゅげん とう ひょう りつ  
**衆議院議員選挙投票率の変化**

拡大する  
かたはらん  
拡大版には、釜石一中学区の投票所  
での投票率もあるよ!

せん きょ とう ひょう りつ  
**参議院議員選挙投票率の変化**

拡大する  
かたはらん  
拡大版には、釜石一中学区の投票所  
での投票率もあるよ!

**選挙に行かない人に理由は?**

復習  
**選挙権拡大の歴史と今の選挙の形**

**選挙に行かない人に理由は?** 閉じる

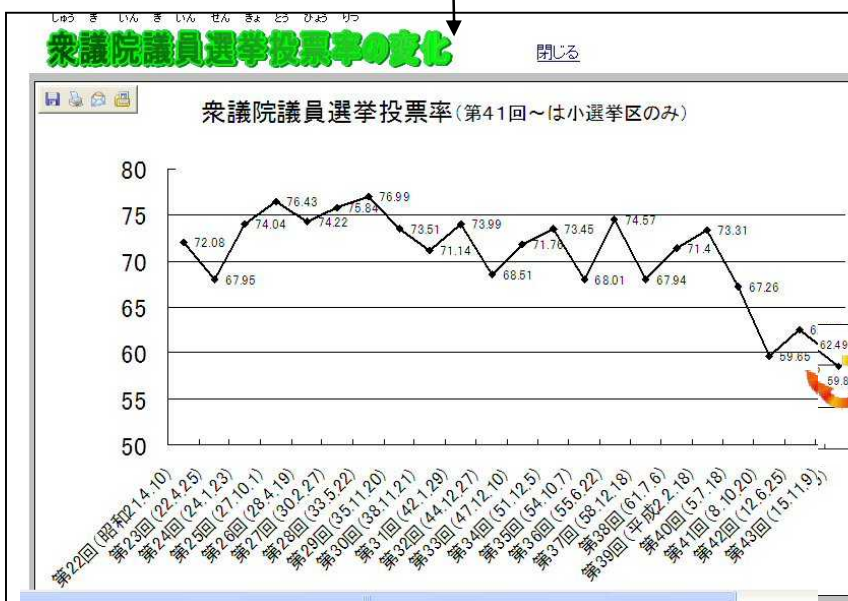
選挙に行かなかった理由 第42回衆議院総選挙(H12.6)

**こんな制度もできました = 期日前投票** 説明  
Citeck

理由があって、当日に選挙ができない場合、公示日の翌日から選挙前日まで  
に投票できる制度。(2003年12月1日から施行)  
投票所は、各市町村に1カ所以上設けられている。(釜石だと釜石一中のす  
ぐら)

**学校の向かいに設けられた  
期日前投票所の写真を見ら  
れるようにした。**

それでも選挙に行かない人は???



拡大して見られるようにし、  
さらに、学区の投票所の投票  
率も見られるようにした。

平成15年11月9日執行第43回来議院議員総選挙

投票区名	投票所施設名	投票率 %
第1投票区	釜石海員会館	72.64
第2投票区	釜石第一中学校	65.92
第3投票区	釜石市民文化会館	71.90
第4投票区	釜石市教育センター	69.43



(\*) step7 (パスワード houritu)

国会のはたらきについて調べさせる資料

ほうりつ  
**法律をつくる** 閉じる

法律をつくるのはどこ？

法律はいつつくられるの？

決定までの手順

**法律をつくるのはどこ？** 法律トップメニューへ  
法律はいつつくられるの？  
決定までの手順へ

そのことは何にどのように書いてあるか？！確認→

答え  
にほんこくけんぽう(にっぽんこけんぽう)  
**日本国憲法 第41条**

こっかい こっけん さいこうきかん  
**国会は、国権の最高機関であつて、**  
**国の唯一の立法機関である。**

どういう意味か  
**考えましょう**

※立法とは法律をつくること  
※国権=国の権力  
権力とは=復習:マウスをのせよう

**決定までの手順** 法律トップメニューへ  
法律をつくるのはどこへ  
法律はいつつくられるの？

まずは、国会でどのようにしてつくられるのか  
手順をチェック

↓ 上をチェックした後

**衆議院の優越**

**多数決の原理**

議院内閣制 → 国会と内閣は深い関係にある  
これまでの学習にも少しずつ出ている  
くわしくは、次の学習で！

法律ができるまでのスライドショーが開く。(次のページで紹介)

**法律はいつつくられるの？** 法律トップメニューへ  
法律をつくるのはどこへ  
決定までの手順へ

答え  
**国会の会期中**  
その間に成立し、原則として「廃案」になります。  
(次の国会にもちこざれないということ)

国会の会期とは？  
国会は1種類じゃない

国会の種類  
どんな種類があるの？

国会の召集  
いつ開かれるの？

国会の会期  
どのくらいの期間？

**常会** → 毎年1回1月に始まる  
必ず開かれる国会  
予算も決める

**臨時会** → 内閣の要求 または  
いずれかの議院の総議員の4分の1以上の  
要求で開かれる

150日  
今年は1月19日～6月16日

両議院の一致の議決で決定  
不定期で期間も話し合いで決めるという  
不一致の時は衆議院の議決優先

**衆議院の優越** 閉じる

衆議院の優越とは？

国会の議決について、参議院より衆議院に強い権限を認めていること。

そうしているのはなぜでしょう？  
**考えましょう**

後で先生がパスワードを教えます。そのとき上をクリック！

具体的にどんなものがあるか  
それぞれのボタンをクリック！

衆議院  
法律案の議決  
衆議院が先に話し合う

参議院  
もう一度話し合う  
参議院の議決なしでも成立！

衆議院  
出席議員の3分の2以上が賛成

衆議院  
予算は必ず衆議院が先に話し合う

**多数決の原理** 閉じる  
もどる

多数決の原理とは？

国会(議会政治)での議決の仕方。  
賛成の人数が多いと決めることができる。  
(普通、出席議員の過半数で可決。憲法改正は総議員の3分の2の賛成が必要)  
みんなの学級会や生徒総会でもそう決めていませんか？

決まったことには従わなければならない(そうさせるのが権力)  
ただ、話し合ってもしないで、すぐ多数決でいいだろうか？  
そうすることに問題はありませんか？  
**考えましょう**

衆議院が優越する理由(パスワード yuetu)は、生徒に考えさせてから提示する。

国会の委員会の様子(衆議院の部でオンラインライブラリーへのリンク)と生徒総会の様子と並べて表示した。

**国会の委員会の様子**

特別措置法が可決されました。  
全部で1時間33分あるので、全部見ている授業が終わってしまいます。  
質疑の様子をちらちら見て、1時間31分以内に採決の様子が見られるので、とまててください。

だ、記憶にあるでしょうか？このように話し合いをしっかりとせずに採決された法案もあつて……

**生徒総会の様子**

議長が催します  
提案に対して、質疑応答をします。

提案に賛成の人は手をあげます=多数決の原理



法律ができるまでのスライドショー（一部省略）

**決定までの手順**

法律案の審議はどちらの議院が先でもよい！

先議の議院

法律案は、内閣が国会議員が提出できる

内閣

国会議員

法律案

議長

ただし！  
クリック

基本的な作りは、内閣総理大臣指名の流れと同じ

国会議員の提出する議案には  
衆議院で議員20人以上(予算が必要なものは50人以上)  
参議院で議員10人以上(予算が必要なものは20人以上)  
の署名が必要

さらに、賛成多数をとるのは難しい！→理由は？！  
前の学習をもとに考えてみよう

第159回国会提出法案数

提出方法	立案数	成立数
内閣提出	150	100
議員提出	10	5

ちなみに今年(第197回国会(常会))では

クリック

常任委員会(特別委員会)とは

委員会は、委員の半数以上が出席すると行えます。(定足数)  
(本会議は、総議員の3分の1の出席)

生徒総会でもちゃんと聞いているのをわかっていますか？

書記長が会の最初に「学級会長は、出席者を報告してください。〇〇の出席なのでこの会は成立します。」っていうよ！

クリック

常任委員会(特別委員会)とは

委員会も本会議も、出席者の過半数が賛成すると成立します。

= 多数決の原理

参考までに、各政党の議席数の割合が委員会でも反映されているのでここで成立すると本会議も通るのが普通です。だから、ここでしっかりと話し合わなければなりません！

ちなみに、生徒総会でやっていることだね。「賛成の人は挙手してください。過半数を超えたのでこの案は成立しました。」って言うね。

ちなみに、国会では、挙手ではなく、起立だったり、必要に応じて投票だったりします。(参議院は、押しボタンでの投票をします。)国会での様子は、もとのページの「多数決の原理」をクリック

少数意見を無視したら、本当に国民のための政治といえるでしょうか？！

クリック

**決定までの手順**

先議の議院

出席議員の過半数が賛成

特別委員会  
常任委員会  
本会議

公聴会

議長

内閣

国会議員

法律案

提出

次の議院へ

**決定までの手順**

後議の議院

出席議員の過半数が賛成

本会議

公聴会

議長

送付

成立

天皇の名で国民に公布(こうぶ)

クリック!

これは法律案が可決する場合の研でしたが……

乱れた議決が違ったら？

もとのページの衆議院の優越をクリック!

なお、この次のスライドにここまでのものをまとめてあります。じっくり確かめよう。

**決定までの手順**

先議の議院

後議の議院

多数決の原理

出席議員の過半数が賛成

特別委員会  
常任委員会  
本会議

公聴会

議長

送付

成立

天皇の名で国民に公布(こうぶ)

専門家の意見を国ために聞かれることもある



(ク) step8 (パスワード naikaku)

内閣のはたらきを議院内閣制を中心に調べさせる資料

内閣とは何? 内閣の役割 内閣と国会の関係

内閣とは? What is the Cabinet?

内閣とは? What is the Cabinet?

内閣とは? What is the Cabinet?

内閣とは? What is the Cabinet?

できるだけ新しい写真を使用。

内閣とは何をするのか? What does the Cabinet do?

行政権は内閣に属する。 Administrative power belongs to the Cabinet.

行政 = 国会が決めた予算や法律を実行にうつす仕事 閣議で政策を決める

行政は、多くの機関が仕事を分担して行っている。多くの機関とは?

「予算や法律を実行にうつす」以外の内閣の仕事は?

閣議の様子 写真提供: 内閣広報室

2004年7月現在の内閣 (第2次小泉内閣)

内閣より

第2条

内閣は、国会の指名に基づいて任命された首長たる内閣総理大臣及び内閣総理大臣により任命された國務大臣をもって、これを組織する。

前項の國務大臣の數は、14人以内とする。ただし、特別に必要があるとすること

内閣府 内閣府副大臣 内閣府法制局長官

官務長官の福田さんは5月で辞任。その後は細田博之さん

内閣府 内閣府副大臣 内閣府法制局長官

官務長官の福田さんは5月で辞任。その後は細田博之さん

内閣の仕事 (日本国憲法に定められているもの)

国会が決まった法律や予算を実行につづす

外交関係を処理し、条約を結ぶ

予算案をつくり、国会に提出する

法令を定める

最高裁判所長官を指名。その他の裁判官を任命

議院内閣制

どういことをさすことまでしよう?! 上の字をクリックすると資料が出ます。それをもとに説明を考えましょう。

国民・国会・内閣の関係を意識してみよう!

衆議院解散の様子のVTR 2003.10.10 (衆議院HP 5分間あります。4分あたりが解散の宣言です。その他の...)

一枚のスライド

衆議院解散の様子がみられる衆議院 Webサイトのビデオライブラリーにリンクした。(現在、1年以上が経過したため、ライブラリーから削除され、見られなくなった。)



(ケ) step9 (パスワード kenryoku)

司法権を学習し、これまでの学習と合わせて三権分立について調べさせる資料

### 憲法を守り、人権を守る権力とは

これまでの関係へ

法律をつくる権力  
法律を実行につづす権力  
それだけで国の権力は十分か？  
つくられた法律が国民のためにならないものだったら？  
法律を実行につづす人が法律に違反していいから？  
権利を勝手にうばわれたら？

だから、憲法を守り人権を守る権力が必要  
その権力を何という？

**Click: 司法権**

では、司法権をもっているのはどこ？

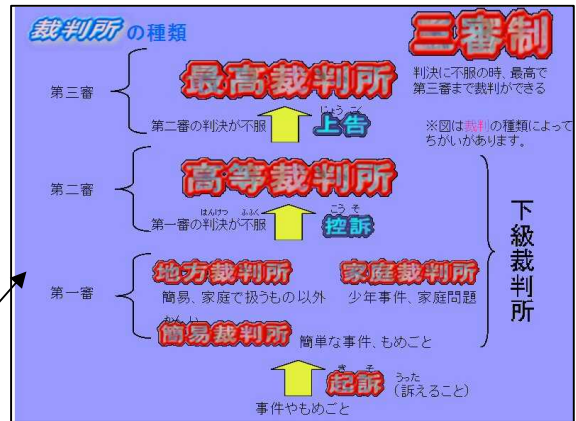
**Click: 裁判所**

日本国憲法第76条①  
すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する

裁判所の種類をチェック

裁判の種類をチェック  
詳しいことは後で

最高裁判所大法廷  
提供: 最高裁判所HP



### 裁判の種類と内容

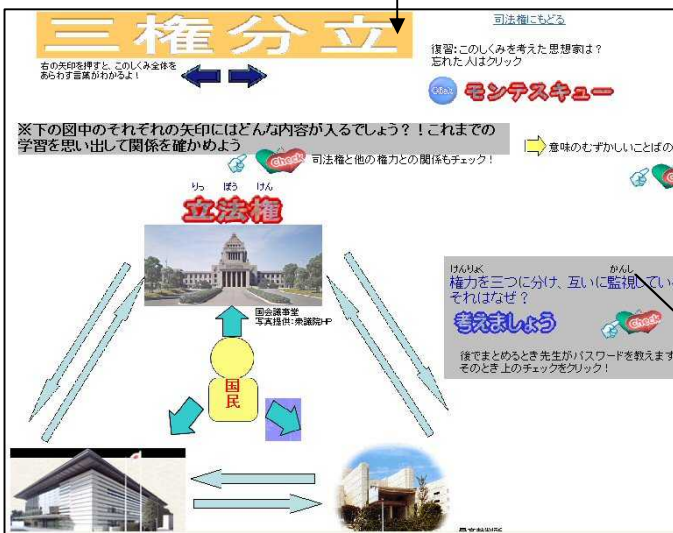
関じる

具体的なものは後で、くわしく学習します。

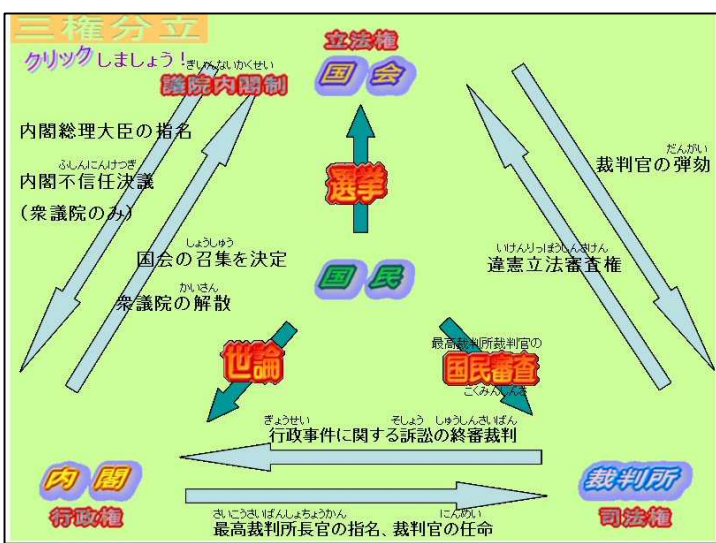
**刑事裁判** 事件について罪を犯したかどうか、どのくらい罪か、を裁く

**民事裁判** もめごとで、どちらの主張が正しいかを裁く

**行政裁判** 民事裁判と同じだが、相手(被告側)が国や地方公共団体(行政機関)



三権分立の理由 (パスワード rentaiseikinin) を生徒に考えさせてから提示する。



### 三権分立にする理由

関じる

**Click: 権力が乱用されるのを防ぐ**

= 国民の意思が反映される政治を行い、国民の権利を守る

※そうではなかった時を思い出してみよう。  
もし、1カ所(1人)で権力をもたら……

絶対王政  
第二次世界大戦のときの独裁者の政治

三権分立の関係を一枚のスライドで提示。一つ一つの矢印の関係をクリックするごとに表示する。



(4) 感想・自己評価を各画面

毎時間の授業の最後に、「各学習内容のスタート画面」から「今日の感想」をクリックさせ、以下の画面で、自己評価及び感想を記入させる。授業の際は、教師のメールアドレスを送信先に指定し、記入後「送信」をクリックすると、結果がメールで届くようにした。

The screenshot shows a survey form with the following fields and callouts:

- 学年** (Grade): 3年 (3rd year)
- 組** (Class): A組 (Class A)
- 性別** (Gender): 男性 (Male)
- 氏名** (Name): [Text input field]
- 今日の授業は楽しかったですか** (Did you enjoy today's lesson?): Radio buttons for A (よい), B, C, D (悪い)
- 課題について学習したいと思いませんか** (Do you want to study the assignment?): Radio buttons for A, B, C, D
- 前に学習したことや自分の体験をもとに考えようと思いませんか** (Do you want to think about what you learned before or your own experience?): Radio buttons for A, B, C, D
- コンピュータの資料で学習したことでわかりやすくなりましたか** (Did learning with computer materials make it easier to understand?): Radio buttons for A, B, C, D
- 今日の学習内容がわかりましたか** (Did you understand today's lesson content?): Radio buttons for A, B, C, D
- 感想** (Comments): [Text area]
- 送信** (Send): [Button]

Callout boxes provide instructions:

- 「あてはまるものをクリックする。」 (Click the one that applies.)
- 「氏名と感想は、ワープロ入力。」 (Name and comments are entered using word processing software.)
- 「送信先に、教師のメールアドレスを指定。」 (Specify the teacher's email address as the recipient.)

Below the form, a text area shows the following data being sent:

```
tanosi=A
kadai=A
kishu=A
siryou=A
wakatta=A
kansou=政治は複雑で嫌だったが、国民のことをまとめて、良いほうに頑張っている事が分かった。
自分にも関係あることが分かって良かった。
政治の学習では、たくさん用語が出たけど1つ1つ内容を確認していきたいです。
授業とても楽しかったです!
```

(5) ドリルページ

授業実践後に、その反省をもとに加えたページ。学習内容の復習をさせるために活用したい。

The screenshot shows a page titled '学習の確認' (Check Learning) with a list of tests:

- テスト1 内閣総理大臣の条件と国会の種類
- テスト2 選挙
- テスト3 多数決で勝ち、政策を実現するには
- テスト4 国民の意思
- テスト5 国会の議決
- テスト6 内閣
- テスト7 裁判所 権力を分ける

A callout box points to 'テスト1' and shows a detailed view of the test page:

**内閣総理大臣の条件と国会の種類**

100点満点(合格点 80点)  
残り時間 4:21  
制限時間 5分  
[テスト開始]

問題 1.  
内閣総理大臣は、文民でなければならない。また、( )から選ばれる。( )に当てはまる語句は?  
答え: \_\_\_\_\_

問題 2.  
内閣総理大臣は( )で指名される。( )に当てはまる語句は?  
答え: \_\_\_\_\_

問題 3.  
日本の国会は、衆議院と( )議院がある。( )に当てはまる語句は?  
答え: \_\_\_\_\_

問題 4.  
③のようなくみをとっていますか。  
答え: \_\_\_\_\_

問題 5.  
4のしくみをとっているのは、なぜ?  
 慎重に審議し、より国民の意思を反映するため  
 重要な問題について時間をかけずに決定するため  
 天皇の意見を反映する機会をつくるため  
 先進的な諸外国に追いつくため

お疲れ様でした。「採点」ボタンを押して採点してください。  
採点後「送信」ボタンを押して結果を送信してください。

[採点] [送信]

ここでは、一問二十点。百点満点で、八十点以上合格という設定にしている。「送信」に教師のメールアドレスを指定すれば、結果をメールで届くようにさせることができる。